



55th GO GO 北高!

いろいろなひと!! 2020 目標だよね 全員集合!

みんな元気に集まろう! ありがとう!

2021年旭川市中・市高

北高同窓会 会誌



55th Asahikawa KITA high school Alumni association

★表紙の絵は、2020年開催予定だった同窓会のものを使用しています。



市中



市高



北高

編集 / 旭川北高等学校同窓会実行委員会 (第11期)

2021年 旭川市中・市高

北高同窓会 会誌

content

- ① 同窓会会長あいさつ
- ② 学校長あいさつ
- ③ 令和2年度会務・会計報告
- ④ 同窓会規約
- ⑤ 東京・札幌同窓会から
- ⑥ 表紙担当者 紹介ページ
- ⑦ 恩師の近況
- ⑨ 北高今昔
- ⑪ 特集「同窓生の活躍」
- ⑫ 今春の進路状況
- ⑬ 北高NOW（部活動報告）
- ⑬ 同窓会役員・幹事名簿
- ⑮ 実行委員長・次期当番期あいさつ



北海道旭川北高等学校同窓会会長

山本 淳一 (北高28期)

ご挨拶

会員の皆様、旭川北高同窓会活動に深いご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

令和元年8月に同窓会長を拝命して3年目となりますが、昨年は第55回北高同窓会が延期となり開催できませんでした。今年こそはと思っておりますが本年も同窓生が1カ所に集まり会食をする同窓会の開催は2年連続見送りとなりました。同窓会長として皆様には大変申し訳なく、2年連続して会を企画していただきました今村速人委員長をはじめとする実行委員会の皆様には企画や打合せでご苦勞をかけた上このような状態にな

り本当に申し訳なく思います。実行委員会の皆様との話の中で

この同窓会誌だけは作成し、実行委員会の足跡を残そうと言うことになりました。同窓会員の皆様やご厚意で寄せられた広告原稿に関しましては、一昨年の第54回同窓会誌に載せていただいたそのままを再掲させていただいております。

我が母校北高の話になります。が、今年の卒業生も非常に頑張っていて北海道大学や旭川医大などの国公立大学に140名以上の合格者を出しております。文武両道の学校として言うまでもありませんが、学業ばかりではなく部活動に関しても感染防止で大会がなかなか開かれる状

況ではない中でも成果が出ている状況です。

昨年2020年は母校北高も創立80周年の記念すべき年でした。校舎の耐震やトイレの改修も終え、本来であれば同窓会としても大々的に祝う行事でありました祝賀会等の行事は出来ませんでした。北高には記念誌発行をしていただき感謝しております。

ところで昨年は感染防止の観点から参加できなかった2021年の新入生入学式に参加させていただきました。中でもジェンダーフリーが浸透して新入生の並び順があいいうえお順になっていたのは目を引きました。全日制6クラス240

名、定時制1クラス10名の新入生の皆様には行事等に制限があるとは思いますが、こういった時代ならではの思い出を作りながら懇親を深め、そして卒業したときには同窓会行事にも興味を持って参加していただきたいと思っています。

最後に母校北高のますますの発展と北高同窓会の繁栄並びに会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。



北海道旭川北高等学校長

鈴木 淳

織りなす糸の如く

今年の3月1日のことです。

卒業式の最終盤、校歌のCDが機器の不調で途切れるアクシデント。感染予防のため斉唱しない予定だったのですが、卒業生から自然と歌声がわき起こりました。1年間ほぼ耳にしなかった校歌を思いがけず聞くこととなり、胸が熱くなりました。格調高い歌詞と旋律は、代々の先輩諸氏が歌い継いできたものです。最後の大会も北高祭もなかった卒業生達が、すべてを乗り越え、北高伝統のバトンを引き継いだ神聖な儀式の瞬間に思えました。

日頃より同窓会の皆様には、

母校の教育活動に深いご理解と厚いご支援を賜り心より感謝申し上げます。昨今の状況下で総会の開催は叶いませんが、2年ぶりの会誌発行を大変嬉しく思っております。昨年4月に北高勤務を拝命し、80周年の道程を辿るべく、過去の周年記念誌とともに、校長室にある同窓会誌すべてに目を通しました。学び舎の息吹が一番感じられたのが歴代の同窓会誌です。45歳の年に総会準備に奔走される幹事の皆様の瑞々しい母校愛に溢れ、青春を謳歌した時代が蘇る誌面に変化を感じているところです。今年はどうのように「あの頃」が描かれるか今から楽しみです。

昨年来、世界が直面する難題

に心の晴れる日はありませんが、わが北高生は動ぜず学業に勤しみ、全日制では、国公立大学に令和元年度126名、2年度143名が合格し大躍進を遂げました。定時制では、令和元年度の道教育大釧路校を始め、就職に加え進学も増え、逞しく社会へ巣立っています。また高体連等が中止となった後、少林寺拳法、アーチェリー、理科実験研究、囲碁が3月に全国出場を果たし、定時制通信制生活体験発表大会では全道出場を勝ち取りました。北高生の活躍は間違いないく困難の先にある新時代を拓く希望となることでしょう。

蛭雪時代の思い出は色褪せず、縦に横に、織りなす糸の如くこ

れからも繋がっていきます。皆様のご健康と同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げ筆を擱きます。

令和元年度から令和 2 年度の会務報告

平成31年

1月26日 (土)	第2回役員会・幹事会・新年会
2月	ノースウィンド発行
2月28日 (木)	同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席
3月1日 (金)	卒業式 役員出席
4月8日 (月)	入学式 役員出席

令和元年

5月18日 (土)	各期幹事会(総会ポスター・会券等配布)
6月8日 (土)	会計監査(第3回役員会の前に実施)第3回役員会
7月6・7日	学校祭協力
8月10日 (土)	第54回同窓会総会・懇親会(当番期北43期・サブ北48期)
9月7日 (土)	第19回東京同窓会総会(役員4名出席)
10月4日 (金)	第38回札幌同窓会総会(役員5名出席)
10月5日 (土)	当番期引き継ぎ会議(北43期から北44期へ)第1回役員会
12月	同窓会入会案内配布

令和 2 年

1月18日 (土)	第2回役員会・幹事会・新年会
2月	ノースウィンド発行
2月29日 (土)	同窓会入会式(コロナウイルス感染防止により役員欠席)
3月1日 (日)	卒業式(コロナウイルス感染防止により役員欠席)
4月8日 (水)	入学式(コロナウイルス感染防止により役員欠席)
6月27日 (土)	会計監査(第3回役員会の前に実施)第3回役員会
8月	同窓会総会中止のため『会務報告』『会計報告』を書面決議
12月	同窓会入会案内配布

令和 3 年

2月28日 (日)	同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席
3月1日 (月)	卒業式 欠席
4月8日 (木)	入学式 山本会長出席
7月31日 (土)	会計監査 役員へ『会務報告』『会計報告』書類を郵送し承認

今後の予定

10月(予定)	当番期引き継ぎ会議(北44期から北45期へ)第1回役員会
---------	------------------------------

令和 2 年度一般会計決算書

■収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 繰 越 金	1,090,341	1,090,341	0	
2 同 窓 会 費	1,207,000	1,184,000	▲23,000	
① 入 会 金	717,000	702,000	▲15,000	234名×3,000円
② 終 身 会 費	490,000	482,000	▲8,000	241名×2,000円
3 ホームページ運営管理費	0	0	0	会券売上げ数×500円
4 雑 収 入	8	10	2	貯金利子
合 計	2,297,349	2,274,351	▲22,998	

■支出の部

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 総 務 費	1,025,000	542,959	▲482,041	
① 事 務 費	20,000	10,000	▲10,000	消耗品費
② 会 議 費	200,000	67,903	▲132,097	役員会、幹事長会等開催費
③ 通 信 費	100,000	51,510	▲48,490	切手、はがき、電話
④ 印 刷 費	20,000	10,000	▲10,000	会議開催案内状等印刷費
⑤ 慶 弔 費	30,000	0	▲30,000	香典、生花、弔電
⑥ 支 部 活 動 費	150,000	0	▲150,000	東京・札幌支部同窓会出席旅費、活動助成金
⑦ 広 報 費	240,000	182,600	▲57,400	同窓会ホームページ年間管理・運営費
⑧ 卒業記念品費	205,000	199,216	▲5,784	卒業生記念品
⑨ 後援会事業費	30,000	0	▲30,000	学校祭協力費
⑩ 雑 支 出	30,000	21,730	▲8,270	振込手数料、雑費
2 文 化 費	330,000	196,300	▲133,700	ノースウィンド第28号印刷費、活動費
3 予 備 費	942,349	0	▲942,349	
合 計	2,297,349	739,259	▲1,558,090	

■収支決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
2,274,351	739,259	1,535,092

残高 1,535,092 円は次年度へ繰越

■令和 2 年度特別会計決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部		残金
前年度繰越金	380,517			次年度へ繰越 380,519
貯金利子	2			
合計	380,519	合計	0	

■令和 2 年度同窓会資産決算書

(単位:円)

累計額	令和 2 年度 積立額	令和 2 年度 支出額	合計累積額	摘 要
8,556,124	12	0	8,556,136	積立額(郵便貯金利子)

■令和 2 年度同窓会記念事業基金決算

(単位:円)

累計額	令和 2 年度 積立額	令和 2 年度 支出額	合計累積額	摘 要
2,752,894	16	739,141	2,013,769	実行委員会より寄付(2020年度なし)、郵便貯金利子(16)、北高記念事業費(638,261)、財団法人旭川北高会寄付(100,000)、送金料(880)

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

第1章 総則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会を称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

第2章 事業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦を図ること。
- (2) 会務及び会員名簿の発行
- (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

第3章 会 員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。

- (1) 旭川市立中学校卒業生
- (2) 旭川市立高等学校卒業生
- (3) 旭川北高等学校卒業生
- (4) (1)(2)(3)各号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

第4章 職 務

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

第5章 役 員

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 会計監査 3名
- (4) 総務部長 1名
- (5) 総務副部長 若干名
- (6) 会計部長 1名
- (7) 会計副部長 若干名
- (8) 文化部長 1名
- (9) 文化副部長 若干名
- (10) 幹 事 長 各期毎1名

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。

ただし、再選を妨げない。

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

第11条 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第12条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時にあつては幹事長のみとする。この場合、再選を妨げない。

第13条 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

第14条 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。幹事は、各組の取りまとめにあたる。

第15条 会計監査は、総会において会員のなかから選出する。ただし、再選を妨げない。

第16条 会計監査は、本会の経理を監査する。各役員は、任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

第6章 総 会

第17条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもって、賛合同数のときは議長これを決す。

第18条 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。

第19条 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。

第20条 臨時総会は、会長が必要と認めたときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。

第21条 総会は、次のことを審議する。

- (1) 会務の報告
- (2) 決算の承認
- (3) 規約の改正
- (4) 役員選出
- (5) その他必要事項

第7章 役員会及び幹事委員会

第22条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部長、文化部長及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第23条 本会の幹事委員会は、会長、副会長、総務部長、文化部長及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第24条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛合同数のときは、議長がこれを決する。

第25条 会務は、役員会に出席して意見を述べることが出来る。

第26条 本会には、次の部会を置く。各務を分担する。

- (1) 総務部
- (2) 会計部
- (3) 文化部
- (4) 会務及び役員会に関する部
- (5) 会務の発展を図り、文化厚生活動に関する部

第27条 部会には、部長1名、副部長若干名を置く。

第28条 前項の部長、副部長及び委員は、会長がこれを委嘱する。

第8章 会 計

第29条 本会の経費は、入会金三、〇〇〇円、修会費三、〇〇〇円及び寄付金をもって充てらる。

第30条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

第9章 事務局

第31条 事務局は、若千名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

第32条 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

第10章 規約の改正

第33条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

第34条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

第35条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

第36条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

第37条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

第38条 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

オ その他庶務一般に関すること。

ア 本会の会計に関すること。

イ 会務の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。

ロ 部会には、部長1名、副部長若干名を置く。

ハ 前項の部長、副部長及び委員は、会長がこれを委嘱する。

ニ 本会の経費は、入会金三、〇〇〇円、修会費三、〇〇〇円及び寄付金をもって充てらる。

ヒ 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

ヘ 事務局は、若千名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

ト 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

チ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

リ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ル 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

レ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ロ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

リ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ル 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

レ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ロ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

リ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ル 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

レ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

ロ 本規約は、総会の承認がなければ改定できない。

コロナ禍における同窓会



東京同窓会会長
柿林 博司
(北高 22 期)

につつきコロナを恨むばかりです。隔年開催の東京同窓会は今年9月の予定でしたが、苦渋の決断で1年延期としました。それに先立ち、各期幹事から開催可否に対するご意見を同アンケートを実施しました。回答者53名中、延期すべきが41名で大勢でしたが、5名からリアル開催の要望がありました。これは、同窓会を大きな楽しみとし継続性を重要視している会員が一定の割合で存在することを示唆しており、同窓の強い繋がりを維持することの必要性和重要性を痛感した次第です。しかし、今後の同窓会・懇親会を「安全・安心」に如何にして実施して行くかは、難しい問題です。新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザと同様に、収束はしても終息はしないからです。変異株の出現とワクチンや治療薬の開発とのイタチごっこは、今後も続くと思われる。従って、今後の安全・安心かつ楽しい同窓会の開催方法が重要課題と言えます。

完璧な安全・安心を狙うならば、例えば会員各自のアドバイザーがオンラインで参加するバーチャル同窓会ですが、本来の同窓会のあるべき姿からはほど遠いでしょう。やはり、先輩後輩が一堂に会して楽しく懇親することが同窓会の魅力でしょう。しかし、今後の同窓会にもデジタル変革が必要になるかもしれません。オンラインとリアル併用により、遠方や不都合な事情で会場に出向くことが出来ない会員も、スマホやパソコンにより自宅から参加でき、かつ密を防ぐメリットがあります。ただ、会場の雰囲気や自宅楽しんで貰うためには、会場でのイベントや懇親会をどのような形態にするか、会場と自宅の会員間コミュニケーションをどのように交通整理するか、会員のネットワーク環境をどのように整備するかなど、臨場感を確保するための工夫が必要で、同窓の皆様からもご意見やアイデアを頂きながら検討していきたいと思っています。最善は、新型コロナウイルス感染症に対する特効薬が開発され、前述のような安全・安心対策が杞憂となれば良いのです。

コロナに負けない繋がり



札幌同窓会会長
山川 広行
(北高 25 期)

令和2年度に続き3年度も、総会・懇親会の開催が見送られ、誠に残念です。同窓会本部役員の皆様、そして当番幹事の皆様におかれましては、悩みに悩まれ、苦渋の決断だったこととお察しいたします。札幌同窓会も昨年の総会・懇親会中止と致しました。札幌同窓会は毎年10月に開催しておりますので、今年については、もう少し様子を見て判断したいと思っていますが、現状を考えると難しい感じがしております。尚、役員ですが、一昨年から、副会長に28期の増田幸夫さん、会計監査に36期の松坂倫子さんが加わっており、また昨年から、事務局は37期の北本宏治さんが担当となっております。

てはいけない、できるだけ人と接するな、会話をするならマスクをして距離をとって短時間でしなければいけない、というようなことを求められます。憎くつきコロナ、コロナのバカヤロー、コロナに負けないぞ、と強く思います。

と口で言っただけでは、どうにもなりません。私たちは、自分たちの体は自分たちで守らなければならないのですが、心を守るには仲間の言葉が必要です。こんな閉塞感がある時だからこそ、身近な同期と連絡を取り合ひましょう。心を開放しましょう。私は、高校の野球部の仲間や同期たちと、よくゴルフをやります。お互い、コロナ感染に気を付けて屋外で交流します。とても気持ちが和みます。皆さんも是非、コロナ感染に気を付けながら、仲の良い同期たちと交流してください。そして、コロナ感染が収束した後同窓会で、同期そして先輩・後輩の皆さんに会えることを楽しみにして、毎日を健康に留意して過ごしてください。私も、皆さんに会えることを楽しみに、コロナに負けないで過ごします。

末筆になりましたが、旭川北高同窓会の益々のご発展と同窓生皆様のご多幸をご祈念申し上げます。



KENICHI OGAWA

イラストレーター・グラフィックデザイナー

小川 けんいち

1974年北海道釧路市生まれ
絵を描くこととバイクに乗ることと
北斗の拳と赤毛のアンが大好きです

絵を描くことを通して、「楽しさ、明るさ、優しさ、ユーモア、希望」を届けたい！イラストレーションを生かしたグラフィックデザイン、トータルデザインを提案します。

ホワイト企業大宮口ロゴマークデザイン、お好み焼「風月」イラストデザイン、「ANA ご当地プレーン」ラッピングイラスト、ホッカイダーグッズイラスト、シャッターアート、壁画イラスト、名刺、ポスター、パンフレット、TBSドラマ「99.9-刑事専門弁護士」とこんちイラスト、テレビ東京「シェフは名探偵」イラスト、道新文化センター旭川駅前スケッチ教室、富良野「あかなら」スケッチ教室、絵を描くことを通したワークショップ（個人・企業）開催、著書にスケッチ画集「MATO」「ななつのきもち」、フロー経営の奇跡「名経営者に育った平凡な主婦の物語（マンガ）」、うさとの絵本「いいてんき」など、個展開催、似顔絵イベントなど 旭川市在住

気持ちで描いた画集「ななつのきもち」販売中！

企業のロゴマークから個人的な似顔絵まで！お気軽にお問い合わせください。

手描きのイラストでデザインは

小川けんいち

しょうむこう

偽浜省

「小川けんいち」YouTubeチャンネルあります。
Blog, Facebook, Instagram あります。



経歴

北海道釧路市望洋幼稚園
北海道釧路市桜が丘小学校
北海道釧路市豊栄中学校
北海道釧路市北陽高等学校
北海道東洋大学芸術工学部デザイン学科（旭川市）
（株）総北海（旭川市・印刷会社）
（株）昇夢館（旭川市・デザイン事務所）

<http://syoumukou.com>



還暦までの2年を残した今

廣瀬純一

皆さんお久しぶりです。

北高には1991年(平成3年)4月から2003年(平成15年)3月まで勤務していました。北高に赴任してすぐに第44期生の5組の担任を任せましたので、あれから30年も経ちました。あのときは私もまだ20代の若僧で、勢いだけの教師だったような気がします。今では孫も出来て本物のジジイの仲間入りです。北高から東川高校に移り、その4年後旭川東高校に移り、昨年の4月からもう一度東川高校で働いています。その間には、母と息子の親子の両方の教科担任になったり、30年近くサッカー部の顧問をしていましたので、父と息子のサッカー部の顧問を経験することもできました。さらに43期のサッカー部のキャプテンだった安藤君は現在北高の監督になって今年の高体連全道大会出場を果たしました。東川高校にはサッカー部が無いのでソフトテニス部の顧問をしています、さすがに生徒と同じようにコートを走ることはもうできません。

北高でまず思い出すのは、やはり今もほとんど変わらない制服です。学ランとジャンパーズスカートは昭和の香りがします。さすがに女子のあの青いカーディガンは見かけませんが、市内で制服が変わらないのは、他には工業と商業だけなのでこれからもうずっと変わらないでいて欲しいです。また北



高では11回も担任を持ちましたが、1、2組の授業に行くことが一度もなかったもので、1組側の廊下の壁にある扉の向こう側がどうなっているのか謎のままでした。

行事も盛んでしたね。校歌コンクールに遠足、学校祭、球技大会にスキー遠足さらに新聞コンクール、1年の宿泊研修、2年の見学旅行もありました。卒業式ではクラス代表の名古君が私の拡大した顔写真を首からぶら下げて卒業証書を校長先生から渡されたのを、テレビのニュースで放送されたのを覚えています。皆さんが卒業したあと、担任だった木村先生と高橋先生が亡くなられて本当に悲しい思いをしました。

コロナ禍でもありますので、自分とご家族の健康に気を配ってください。いつか会える日が来ることを願っています。

「45歳」になった皆さんへ

相庭達也

幹事を努める44期の皆さんは、僕が北高に赴任したてで担任をした生徒さんです。折角ですので、担任をした生徒さんに向けて少しお話をさせて下さい。

元1年9組の皆さん、お元気ですか。「夢を追って熱くなれ」。そんな言葉を覚えていますか。「アイニー」というニックネームをプレゼントしてくれましたよね。そのニックネームは今でも生徒さんや学生さんが、僕を呼ぶ時に使ってくれています。ピンク色の「文集」は何処かにありますか。最後の日誌は由紀子を書いたんですね。

2・3年は同じ9組でした。教室の黒板の横に「自勝者最強」と書かれた模造紙が貼ってあったのを覚えていますか。3年の「クラスTシャツ」は何故か「五十嵐眼科」がプリントされましたね。サッカー優勝。改めておめでとうございます。金曜日の1時間目は「体育」でしたよ。実は僕の手元に皆さんが北高を受検した時の願書の「写真台帳」があります。皆さん「カワイイ」よ。康二の受検番号は2010だったんだね。ワックスかけの時に思い切り転んだ人がいましたが、その後大丈夫ですか。

僕が皆さんの担任をした時は31歳から33歳でした。今の皆さんからすると「後輩」ですよ。若かったな。怖いものがなく生意気でしたね。今思うと変な汗が出ます。僕が45歳の時は



〈初孫のサエちゃんと〉

北高を転出した年です。次の学校でやっていけるのか、不安感でいっぱいでした。皆さんは、今その45歳なんですね。きっと、それぞれが様々な想いで、今を過ごしていることでしょう。実際に大変な時期ですものね。

卒業式当日の最後のLHRを覚えていますか。僕が最後に言った言葉は「若いみんなには、まだ負けないよ」です。昨年3月に定年退職を迎え、今61歳になりました。それでも拙い「頭」ですが「日本史」の勉強は続けています。この3月には「博士」になったよ。「まだまだ負けないよ」と言いたい所ですが、今は「一緒に頑張ろう」という言葉の方がいいようですね。

最後になりますが、幹事の皆さん、同窓会役員の皆様のご健勝を祈念して、下手な話を終わります。皆さん、どうかお元気で。

意外と知らない いまさら聞けない 北高のアレコレ



▲丁寧に教えて下さる後藤先生

みなさんはこう思ったことはないだろうか。休み明けテストと定期考査の間の期間が短すぎる。テストが終わった数週間後にはまたテストがあり、気分が上がらない生徒は多いと思う。このようなテストに関わる素朴な疑問を解決するために、教務部長の後藤先生に話を聞いた。

学習のモチベーションを保つためにも休み明けテストを行っている。後藤先生は「生徒は定期考査と休み明けテストは同じようなものと考えていると思うが、目的はそれぞれ違うことを知ってほしい」と語る。

今年はコロナの影響で年間の予定が狂ったため、前期の考査を1回にするか2回にするか先生方で検討をした。実際に1回しか行わなかった学校もある。それでも2回やることにしたのは、1度の考査で前期の評価が決まるのを避けるためだ。

「10月から出願を始める大学や専門学校があるので、前期中間の1回だけで成績を決定してしまうと、不利になる生徒がいると思う。そのため、2回やる必要があった」と後藤先生は休み明けテストと定期考査の重要性を教えてくれた。

新生240名が北高生の仲間入り 希望を胸に新たな一歩



▲240人を代表して校長先生の前で宣誓文を読み上げる内田さん

4月8日に入学式が行われ、全240名が北高生としての一歩を踏み出した。入学式では各クラス担任による呼名に対し、力強い返事を返した。その後、校長先生をはじめめと祝福と期待の言葉に耳を傾け、入学式は幕を閉じた。

1年生は3日間の宿泊研修で互いの交流を深め、北高生としての自覚を養う。そして対面式を経て、通常の授業や部活動を中心とした高校生活を始めていく。

中学生の頃とは大きく環境が変わるため、わからないことも多いかもしれない。

れない。そのようなときは遠慮せずに、先輩や先生方を頼ってほしい。北高生としての自覚を持ち、高校生活を満喫しよう。

新生の代表で誓をした 内田一葉さん(1の5)



入学式で代表で宣誓をした内田一葉(うちたかずは)さんは「入学後は、勉強以外に、部活や行事で交友関係を広げていきたい。また、英語のスピーチ大会にも挑戦したい」など高校生活に大変意欲的だ。私たちも頑張る気持ちを持った1年しっかりと支えていきたいと思う。

”



北高探検隊が行く 歌われない校歌の2番の謎 山根校長のフロフィールをちょっと紹介

新聞局は常々疑問に思っていた。

『何故、北高校校歌の2番は歌われないのか？』疑問を解決するため、我々は先生方にインタビューを行うことにした。まずは北高のドンである校長先生からだ。

校長先生は校歌の2番が歌われないことについて「特に何も聞いていないという。しかし、今まで赴任した他の高校でも校歌の2番だけが歌われていないところが多く、歌う機会もあまりなかったという情報を得られた。始業式や終業式ではなく

創立記念日などで歌っていたらしい。また校長先生が通っていた学校の校歌は2番までしかなく、2番が歌われないということはなかったそうだ。ここで、普段あまり関わることはない校長先生について紹介していきたいと思う。

校長先生の担当教科は社会科で、専門は日本史。趣味は写真撮影で、特に鉄道写真が大好きらしい。学生時代から身近なところで写真を撮っていたそうだ。

さらに、校長先生の出身地は旭川。一般教員だった時は旭川商業高校にいたこともあるそうだ。校長と教頭になってからも転勤はしたが、最終的には旭川に戻ってきた。「生まれ故郷に戻ってこれたこと、北高校に職場を持てたことをとてもうれしく思っている」と晴れやかな笑顔で語った。

北高卒業生 笹森先生が語る

校長先生に伺ったが2番の謎は解けなかった。そこで本校の卒業生である笹森先生にお話を伺った。

笹森先生は37期生で昭和61年度の卒業生である。先生が在籍していた頃から校歌の2番はあったものの歌われていなかったそうだ。そのため、2番の詳しい歌詞は教員として赴任してきてから知っ



たという。なぜ歌われていなかったかは先生も知らないが、校長先生と同様、今まで赴任してきた学校でもだいたい2番は歌われてこなかった。北高だけが2番を省略しているのとは全く異なる。学校の省略されていることがわかった。

先生は高校時代野球部に所属しており、野球に熱中する日々を送っていたという。当時の野球部の監督はとて怖くミスをすると国道で校歌を歌わされたとか・・・。

その一方で、全校応援のときに全校生徒と一緒に校歌を斉唱したことはとても思い出深いと振り返っていた。

いずれにせよ校歌は時がたっても心に残り続けるものだ。歌う機会が少なくとも心をこめて歌っていくべきだろう。気になった人はぜひ生徒手帳3ページを開き2番の歌詞を確認してみよう。

”

北高探検隊が行く クラス替えの秘密

今年度がそろそろ終わるということで、誰もがドキドキするであろうクラス替えが近づいてきている。新聞局では1年生の学年主任である小野崎先生に北高クラス替えの仕組みを教えてくださいました。

入学時は入試点を優先的に、入試点の順番と推薦入学者を均等に振り分ける。また、1年次には学校祭で合唱コンクールがあるためピアノを弾ける生徒も配慮される。意外にも出身中学校は過度な偏りがない限りはあまり気にしていないという。

2年生、3年生は時間割を組む関係で選択科目によって決まっている。2年生の時は文理が混ざっているが、3年生になると完全に文理が分けられる。クラスの文理と先生の担当科目はあまり関係がなく、担任の先生は割とランダムに決まるそうだ。ちなみに学年に関係なく、先生が把握しているカップルは同じクラスにするのを避ける場合もあるので、心当たりのある生徒は注意が必要だ。

新年度のクラス替えは去年の12月に科目選択が終わった時点から担当の先生たちによって進められ、取材を行った2月下旬時点でほとんどが完成していた。新しいクラスがいつ発表されるかは学年ごとで異なるため詳細は伝えられないが、早い時は3月に下旬に発表されたこともあったそうだ。我々新聞局員も今回聞いたクラス替え基準を参考に、不安はありつつも発表を楽しみに待っていたと思うのだった。

“

北高探検隊が行く 運動部の友『Jラン』

みなさんは「Jラン」という言葉に馴染みはあるだろうか。Jは自衛隊のJであり、運動部が北高前の自衛隊の周りをランニングする練習のことを「Jラン」と呼ぶのである。新聞局ではこのJランについて調査を行った。

主に取り組んでいる部活はサッカー部、陸上部、男子硬式テニス部、男子バスケ、テニス部であり、多くの部活に取り組みされている。この中でも練習頻度が多いのはサッカー部で、去年は月に3、4回のペースで行っていた。部員達は5キロ弱のコースを20分前後で走り切るといふ。これはおよそ時速15キロであり、例

えば北高からこのスピードを維持して1時間走り続けると旭川を超え隣町の当麻町にたどり着く。あるサッカー部員は「練習がJランであると聞くと少しテンションが下がる」と言い、やはり練習がきついというイメージがあるようだ。

帰り道に自衛隊の周りを走る北高生を見つけたら、心の中でエールを送ってみたいだろう。

“

～新聞局の皆さんのご協力により、北高新聞から一部抜粋掲載～

同じ窓から世界を見るということ

― 21世紀の同窓会論 ―

哲学・倫理学研究者、音楽評論家、編集者

多田 圭介 (第44期)

Profile

2013年 北海道大学大学院博士後期課程修了、博士(文学)
2014年 北海道大学非常勤講師、同専門研究員
2016年 藤女子大学講師
2018年 さっぽろ劇場ジャーナル創刊

1・同窓会の現在

同期の今村速人くんから「同窓生の活躍」という記事の執筆依頼を頂戴しましてこれを書いていきます。『もっと他に相応しい奴がいるだろうに』と内心ちよつと訝しみつつ、でも実はちよつと嬉しかったりしつつ。簡単に自己紹介しますと、私は哲学・倫理学の研究者をやっております。東京の私立大学を経て北大の大学院で博士号を取得して、今は札幌の藤女子大学で教えています(研究はサボりぎみ)。それから、クラシック音楽や舞台芸術の評論を書いていきます。新聞や専門誌に寄稿していましたが、マス向けのメディアではあまり本当に書きたいことが書けないので、2018年に独立して「さっぽろ劇場ジャーナル」という批評誌を創刊しました。さらに、朝

日新聞やNHKなどが開講している生涯教育機関での市民講座にも力をいれています。あちこちに分散しているように見えるかもしれませんが、これらの仕事に共通するのは、皆が同じ方向を向いているときに「それ、ちよつと違うんじゃないの?」と「いちゃんを付けること」と言えるかもしれない。まあ、そういう

ことをするからソクラテスも死刑になったわけですが、この汚れ仕事を大切な自分の役割だと信じて頑張っています。

というわけで、この寄稿でも、せっかくなので同窓会に「いちゃんをつける」ことにしました。SNSですでに繋がりがすぎた現代において、同窓会にはどんな意味があり得るか。ちよつと考えてみませんか。

高校を卒業してから20数年。これまでに高校や大学の友人と集まる機会は、皆さんも少なくなかったと思います。「お、東京にいるの?」ちよつと集まろうか」という具合に。あまり友人のいない私にもたまにお呼ばれました。私は、昔の友人たちと集まるとこんなことを感じていました。久しぶりに集まって楽しく話せる



STJ

かどうかは、当時同じ部活だったかどうか、当時趣味を通じて仲がよかったかどうか、当時のグループにいたかどうか、意外と関係がないんです。20数年たって楽しく話せるかどうかの基準はたった一つです。それは、社会に対するリアリティを共有しているかどうか、この一点なんです。社会に対するリアリティとは何でしょうか。例えば、同じマンションの隣のおばさんは、僕にとつて空間的には無限に近い存在だけど、心理的には無限に遠い存在です。終身雇用で、家に専業主婦がいて、さらに郊外に戸建てを買っていていつかはクラウンみたいな。そんな戦後中流神話を信じているような人とは無限の隔たりがあるわけです。そんな隣のおばさんより、海外に住んでいるけど同じ問題に関心がある人のほうがよほどリアリティを共有できる。インターネットがあると当然そうなりますよね。こうしたリアリティの乖離って、いつからどのように生じてくるんでしょうか。ちょっと角度を変えてみましょう。

いのですが、実感したことありませんか。あんまり言いたくはないけど、お勤めの人は特にそう。少なからぬ人が、35歳くらいで社会に何を残すかを考えなくなる。そして、自分の人生にどう見栄を張るか、自分の自意識にどう決着をつけるかばかり考えるようになる。自分の社会的・経済的保身とプライドの維持にしか関心がなくなっていく。実際、日頃大學生と接していても、若いマスコミ志望の学生なんかは、9割がた、就職活動している時点でfacebookに「どここのテレビ局に内定もらいました」「どここの広告代理店の内定ゲットしました」と書きたいだけの奴が多い。いまずぐ全員側溝に流したくなるけれど、そのなかでも1割くらいはものが作りたいと思ってる人もいる。だけど、その1割のうちの9割が35歳までに脱落する。悲しい。

もちろん、自分の人生以上に大切なものなんてないというのは、正しいと言えば正しいし、常識といえば常識。でも、その常識を超えて、自分の人生はせいぜい80数年しかないけれど、作品は永遠かもしれないというところに賭けるから、人つてもを作るんだと思うんです。本を書くのもそう。自分が生きている間は陽の目を見ないかもしれないけれど、

本当に大事なことが書いてあれば、自分が死んだ後、いつかどこかで誰かの心を動かすかもしれない。そこに賭けるから人は本を書く。もちろん、具体的な作品じゃなくても仕事の成果でもいい。例えば、学校の先生になってみたら、現場で何十年もただ因習的に続いている実効性ゼロの行事があったとしましょう(学校にはたいがいありますね)。それを改革したら、現場で村八分にあつて職場を追われることになるかもしれない。でも、そんな憂き目に遭つたとしても、その因習を断ち切ることに成功したなら、それは社会に作品を残したことになります。疑問に感じながらも、自分が損しないだけのために、ずるずる因習を引きずることに加担する人生よりずっとよいとも言えます。でも、ほとんどがそこから脱落する。僕が感じる、最も大きな社会に対するリアリティの齟齬はこの辺にあります。

でも、それって誰かが悪いわけじゃない。お爺ちゃんみたいな言い方になるけれど、人生ってそういうものだし、か言いようがない。なので、ズレたらズレたなりの適切な進入角度でどう人と付き合うかは、人が歳をとっていくなかでとても大きな問題であるのはたしか。というわけで、世界観が完全にズレてしまった人と

どう付き合うべきなのか。それを考える場が、現代の同窓会の意味になり得るんじゃないか。なんてことを考えたわけです。決定的に生き方が違ってしまったけれど、それでも大事な人というのは、やはりいる。そういう人と出合い直し、そういう人とどう付き合うかを考える。それが現代の同窓会の意味だと考えられないでしょうか。

2・オリンピックのリアリティ

さて、せっかくの寄稿なので、私たちが今直面している社会的なリアリティを何か取り上げてもう少し掘り下げてみましょう。何にしましょうか。コロナはさすがに嫌なのでオリンピックはどうでしょう。2021年4月現在のオリンピックのリアリティ。皆さんはどこに見出していますか。

オリンピック以前に、僕、そもそもなんですが、学校の体育が苦痛でした。その理由を遡ってみましょう。80年代は、田舎の小中とかには体育できないやつはイジメられて当然という空気がありました。体育の授業ってというのは、クラスの統治をスムーズにするために最適化されていた。ヒーローを生んで人の輪の中心と外側ができるように。先生もそれを黙認していました。いや、積極

的に加担していた。当然、子供たちに身体を動かす楽しさを教えるためのものにはなっていなかった。言葉の最悪な意味で、世間に適応するためのノウハウを詰め込むためのものになっていました。今、オリンピックについて考えるべき重要課題は、日本の公(ダメ)教育によって奪われてしまったスポーツの魅力を取り戻すこと、こう言えると思います。そもそもなんです、今のスポーツは改善の余地が多い。今のスポーツは、大半の競技が健康で若い成人男性を基準につくられていて、それ以外は劣った身体だという根深い前提があります。僕が、子供の頃から体育がいまいち好きになれなかったのは、この五体満足男性中心主義が見え隠れするからなんです(ちなみに僕の父親は体育教師でした。びっくりですね)。

でも、人間の身体って実際はもつと多様ですよ。例を挙げて考えてみましょう。南アフリカにオスカー・ピストリウスっていう義足の陸上選手がいます。彼は義足でパラリンピックではなく、オリンピックに出場してメダル一步手前まで行きました。ここから何が分かるかというと、競技用の板バネの性能が上がっていったら、短距離走や跳躍種目では、義足のほうが有利になるということ

です。考えてみたら、人間の足なんて速く走るために最適化されています。なので、競技用の板バネのほうがスピードが出るというのは当然なんです。このとき、義足の選手を、そんなものインチキだとオリンピックから追い出すのは、僕にはどうしてもフェアだと思えない。ちょっと前に抵抗の少ない水着が問題になりましたね。あれは、本当はシューズやウェアだって同じはずなんです。もつと言ってしまう、メガネだって広義でのサイボーグ化であるはず。広義の身体改造。こう考えると、いま私たちが信じているスポーツというものは、何か、ものすごく狭くて暴力的な、人間の身体というものにはこうあるべきという思想に基づいたものに見えてきませんか。少なくとも、すごく一面的なカッコよさとか憧れに依拠したものであるということは、どこかで頭に入れておく必要がある。本当は、もつと幅広い身体観に基づいたゲームがあってよいはず。例えば、アメフトはヒントになります。あれは、マッチョな人とか足の速い人とかバラバラの個性が同じチームにいるほうが強いゲームですね。あの延長線上で、もつと多様な身体観を許容するルールの競技があつていいはずなんです。この観点に基づくと、いま私たちが

身近に親しんでいるスポーツはほとんどがクソゲーということになる。若くて五体満足で健康な男性がひたすら有利っていうものすごく単純なルールになっていることに気づかされざるをえない。仮に、ゲームセンターで、健康で背が高く若い成人男性だけが有利なゲームがあつたら流行りませんよね。それと同じです。もし、こうした多様な身体観に基づいたスポーツが当たり前の世の中で、学校の体育教育もそうした観点で行われていたなら、僕はもつとスポーツが好きになっていたかもしれません。2021年のオリンピック。これだけ、男女平等とか叫ばれる割に、スポーツが持つこうした根深い問題にリアリティを感じている人がいるように思えないんです。テレビで議論されることはまずないでしょう。オリンピックのリアリティを考える上で今出たテレビの役割も避けるわけにはいきません。よく言われることですが、日本のマスメディアは、こうした大きなスポーツイベントがあると、ゲームの面白さではなく、物語で共感を集めようとしています。競技の専門的な解説よりも、選手の苦労話にフォーカスして、日本に感動をありがとう!という。でも、現代社会の生活実感として、同じ国籍だという理由で感動するのはちょっと

と無理がありませんか。現代では、国家よりも市場のほうが生活に与える影響は明らかに大きくなっています(今はコロナでちょっと違いますが)。こうなると国籍が同じ人より、ライフスタイルが近い海外の人により近さを感じるの当然でしょう。こんな時代に国民的なスポーツイベントでみんな一つになつてどだい無理な話。ただ、それでも今はグローバル化に対するアレルギー反応で、やっぱり国家が提供する物語が大事だよなっていう反動が起きているのも確か(ネット右翼)。だから、一時的には国威発揚的なオリンピックは復権する可能性がある。日本は高齢社会だからなおさらその可能性はある。一時的には国民的スポーツで一つに! っていうのはウケる可能性があるんです。でも、だからこそ、その反動に注意深くならなければいけない。そのリアリティはたんなる反動現象だよ、と。ここで、オリンピックのもう一つのリアリティが浮上してきます。先に書いた、多様な身体観を許容するスポーツとは、主にライフスタイルスポーツについて考えるべきことです。ただ、オリンピックは競技スポーツの場。競技スポーツで、世界最高水準が更新される現場というのは、やはり、おそらく人間にとつて原理的な感動の現場になり得るの

です。マスメディアが提供する選手の苦労話は、所詮は文脈依存的な感動にすぎません。オリンピックをマスメディア主導の(文脈依存的な)感動物語から解放し、原理的なスポーツの感動が生起する場に変換する可能性を今年のオリンピックは持っています。それは何か。この原稿を書いている4月現在、2021年の東京オリンピックは無観客になる可能性が高くなっています。ここにヒントがあります。オリンピックスタジアムでは選手なんて豆粒くらいにしか見えません。しかも日本の選手が勝つとワッと盛り上がってしまうので、結局ナショナルリズムを確認する場になってしまいます。そうではなく、例えば5GとVRを駆使して、目の前で100mを9秒台で駆け抜けてゆく選手たちをお茶の間で目の当たりにする。その感動は、たんなる文脈依存的なものではなく、例えば、巨大な滝をみて心を打たれるのと同じような原理的な感動を呼び覚ますものになり得ると思います。無観客になることで、オリンピックを皆でナショナルリズムを確認するための儀式から解放し、スポーツの原理的な感動を復権するきっかけにするのです。

こうした、オリンピックについてのリアリティというのは、僕の身近

でもほとんど共有されていないし、ましてやテレビなどで話題になることはまずありません。ほとんどは、コンサートが中止なのになんでオリンピックはやっていいんだ！レベルの議論ばかりです。こうした、社会的なリアリティの共有の難しさはなぜ起きるのでしょうか。なぜ、共有されるリアリティはこうも画一化されてしまうのでしょうか。最後に、それを現代の情報環境から読み解き、同窓会論に繋げてみましょう。



3…同じ窓から世界を見るということ
さて、現代の私たちは、インターネット、フェイスを介して世界を見えています。PC、スマホの画面。そして、その情報を集積するAIの高次の眼を通して。2000年代初頭くらいまで、インターネット上には、今よりテキストサイトが多かったですね。私と同世代の人は思い当たるでしょう。そこには、今より、色んな考え方がありました。そして、高度に構築された理論や物語を世間に対してぶつけてゆくという雰囲気(今よりは)ありました。しかし、東日本大震災以降、潮目が変わりました。

SNSの爆発的普及による、いわゆる「動員の革命」です。「絆」「連帯」の大号令、アラブの春、現在進行形の香港の民主化運動です。2010年代は、SNSを用いて、とにかく人を動員した時代でした。音楽産業の中心はCDからフェスに移動しました。これがある面で非常にまずかった。インターネットとSNSと

いうのは、ちよつと分けて考える必要があるのです。
SNSの何が悪いかというと、アカウントを持つ全員が発信者であり、かつ受信者であるということです。発信者

というものは、多かれ少なかれ「いいね」が欲しいし、フォロワーを増やしたい。そうすると、いま皆が関心を持っているテーマ以外を話題にするインセンティブは低くなる。問題についての複雑で専門的に構築された理論は難しいので「いいね」を集めない。結果、問題そのものより、問題についての人間関係(疑似問題)に終始することになる。最近では森喜朗の差別発言で森の人格批判にばかり関心が集まりましたね。他にも、例えば、シングルマザーがネグレクトで子供を死なせてしまったとしたら。問題は、再発させないために行政や地域社会の役割を再考すること等ですが、SNSでは、その母親の人格批判に集中します(疑似問題)。

加えて、現代ではテレビがそれに加担しています。テレビは視聴率主義なので、SNSから情報を吸い上げて、共感を呼ぶ話題を精査して放送します。コメントーターの役割は、自分が訴えたいことを構築して視聴者につけるのではなく、視聴者がこう思っているんだろというあるある感を代弁し、言語化することとに終始します。それが得意なコメントーターが重宝されます。今のテレビは大衆のあるある感を換金するゲームしかできていません。こうし

て、報道番組と情報&バラエティの垣根が実質的になくなりました。政治家も、複雑な政策では票に繋がらないので、たった一言のハッシュタグ(それも疑似問題の)で動員するようになりました。敵はあいつ!以上!みたいな。そのほうが効率的だと多くの人が気づいてしまったのです。こうして、国政選挙すらアテンション・エコノミーのゲームに呑み込まれました。2020年代の私たちは、その大きなツケを支払わされています。何かというと、発信者でもある私たちは、自分が能動的に世界にコミットしていると思いつ込んでいただけで、実際は「動員されている」という事実について自覚がない「ということ」です。言い換えると、私たちは、インターフェイスというたった一つの「窓」を通してしか世界を見ることができなくなっていることに自覚がないということです。世界の測り方は、何千通り、何万通りの温度計を用意しないと測れないのに、私たちは、インターフェイスを介して動員されることで、たった一つの「窓(尺度)」を介してしか世界を見ることができなくなっているのです。これが、現代における、社会に対する決定的なりアリティの画一化(と齟齬)の正体なのではないかと考えています。少なくとも一部はそうだと言えるで

しょう。

医療従事者に感謝しても原発廃炉作業員に感謝する人がいないのはなぜか。東京都知事や大阪府知事をデイスるだけで、私権の制限が民主主義と矛盾しないのはどのような条件の下においてかを論じる人が視界に入らないのはなぜか。私たちは能動的に世界にアクセスしていると自分では理解しているのに、実際は窓の「外」を遮断された世界に動員されているのです。まさに同じ窓の会です。

AIはこの「窓」のなかで私たちに関心を持ちそうな話題を先回りして提供します。世界の棲み分けはどんどん進んでいきます。同じマンシヨンの隣人よりも、海外のライフスタイルの近い人のほうがアリティを共有できるというのはこういうことです。ですが、僕は、最初にこう書きました。同窓会では、社会に対するアリティが決定的に異なってしまうた友人と出会い直すことができます。同じ学校の出身という「窓」は、現代では、国籍がそうであったように、社会に対するアリティを共有する装置にはなり得ません。逆に言えば、棲み分けが加速的に進む現代の世界で、その画一化を攪拌することは、「同じ窓の会」である同窓会でこそ可能なのです。しかも、同窓会で会うのは、古い友人。かつて

のコイツはこうではなかった、というズレの実感を伴った経験が生じます。この経験は、たんに世界観の違う人間とどう接するかという問題にすぎないわけではありません。そうではなく、徐々に価値観や生き方がズレてゆく人と、私たちは、どのような進入角度で接するべきかという問題です。これは、人が歳をとってゆくなかで避けることができない、真剣で切実な問いであるはずで

もう一度、書きます。完全に生き方が違ってしまっただけで、それでも大事な人というのは、やはりいる。そういう人とどう付き合うか。どう出会い直すか。それを考えることが、すでに過剰なほど繋がりがすぎたこの世界で、敢えて同窓会を実施する意味になり得るのではないでしようか。インターフェイスという「同じ窓から世界を見ること」を無自覚に、しかも徹底的に強いられている現代の私たちにとって、逆説的に、「同窓会」こそが、その外部へと私たちを連れ出してくれるきっかけになり得るのです。

以上、「同窓生の活躍」というタイトルでの執筆依頼でしたが、「21世紀の同窓会論」を展開してみました。めんどく

さい奴なので今後同窓会に呼ばれなくなると思ったら、それでも本望でございます。ソクラテスも死刑になったことすし。



出逢いで広がる 自分の世界

ESL
コーチ

林 郁慧 (第44期)



Profile

1994年 旭川北高校普通科卒業
1995年 ジョージア州立大学附属語学学校卒業
1999年 カリフォルニア州立大学 児童青少年発達・発育学科 / 社会学科卒業
2001年 カリフォルニア州立大学 修士課程
TESOL (Teaching English to the Speakers of Other Language) 学科卒業
2001年 結婚 カナダへ 専業主婦
2014年 フリーランスで日-英、中-英翻訳、英語ウェブサイトのウェブライター
2017-2018、2019-2020 地元、カナダの現地校で教育アシスタント
2020年 オンライン起業目指して奮闘中

高校卒業から27年も経っているという実感が全くないのですが、今思えば、旭川北高校に入学できた事自体、奇跡でした。

北高を学区外定員5%枠で受験すると決めてから、初めて塾に通った中学3年の夏休み。最初の学力判定で、北高合格率はなんとたったの2%！それでもどうしても北高に入れたかった私は、その夏休みに猛勉強をしました。神からの憐れみか、奇跡的に合格することができ、その

後3年間の北高での貴重な出逢いや高校生活は、今でも忘れられない、心温まるものばかりです。

私は、北高卒業とともに渡米し、アトランタにあるジョージア州立大学の語学学校で、1年間大学進学のために英語の準備をしました。翌年、憧れていた南カリフォルニアに移り、カリフォルニア州立大学フルトン校に入学しました。

アメリカ留学では、世界中からの留学生や移民の方たちとの出逢いがあり、英語の他に中国語(北京語)を話せるようになるという予想外の収穫もありました。そして、アメリカでの生活とともに、キリスト教に触れる機会もあり、私の世界が想像以上に広がったのでした。

大学では、小さいころから子供が好きだったため、迷いなく児童青少年発達発育学科を専攻し、在学中に社会学にも興味を持ったことから、ダブル学位で卒業。好きな英語が使えて子供相手の仕事という方向で、台湾で子供英会話教室を開くこ



1994年 ジョージア州立大学語学学校
(ESL プログラム) クラスパーティー



カリフォルニア州立大学フルトン校在学中 Partners International Club

とを考慮していました。そのタイミングで、TESOL (Teaching English to the Speakers of Other Languages) という修士課程があることを知り、そのまま大学院に進み、ESL (English as a Second Language) 教師の資格を取得しました。

ところが、人生何が起きるか分からないとはこのことで、卒業する半

年前にカナダ在住の夫と出逢ったことで、台湾ではなく、反対側にあるカナダに移住することになったのです。正直なところ、アメリカの隣にあるカナダですが、旅行でも「行きたい」と思ったことは一度もなく、まさか永住することになるとは想像もしていませんでした。

今年で北米在住28年目に突入するわけですが、そのうち、カナダは20年、と今までで一番長く在住した国になります。現在は、ナイアガラ滝から2時間半ほど離れた町、北海道を思い出させてくれるトロント郊外の

小さな白人の町に夫と息子3人(現在18才、16才、11才)、5人家族で暮らしています。

結婚後は家庭に入り、1年後には長男も生まれました。すくすく育った長男ですが、

2歳から自閉症や注意欠陥多動性障害の症状が目につくようになり、学齢期に近づくにつれ、集団生活に馴染めないのではないかと心配した日々を昨日のように覚えています。学校生活が辛い思い出になっ



1996年 カリフォルニア州立大学フルトン校附属保育園 (ハロウィンパーティー) Toddlers(1~2歳児) クラス アシスタントとして勤務

てほしくない、社会生活でのつまずきによって学習に影響が出てほしくないという思いから、北米では制度の整っているホームスクールに挑戦することに決めました。

英語がネイティブではない私に、こんな責任重大な役が務まるのかという不安と闘いながら、試行錯誤の日々を4年。結果、ホームスクールは大変だったものの、収穫も多く、三男が生まれたタイミングで、長男と次男は学校に通い始めることになり、学校生活にもスムーズに適應し

ていくことができました。そんな長男も今週で大学1年目無事終了となります。

専業主婦として子育てと家庭を優先してきたのですが、ある日ふと気が付くと自分を失っていました。自分探しを始めようと思ったものの、十数年も社会から離れていては何ができるのかも分からず、とりあえず英語のスキルを使つての在宅ワークを考え、フリーランスとして翻訳やウェブライティングを始めてみました。

その後、息子たちの通う現地校で教育アシスタントとして、個人指導が必要な生徒のサポートや、リーディングの強化が必要な生徒たちの指導を担当したこともあります。

このように様々なことを試みたのですが、2018年にオンライン起業というものを知り、「これだー」と直感しました。ビジネスやテクニクの知識も経験もゼロ、というところから独自で学び始め、この原稿を書いている今、ちょうど英語の無料講座をライブ配信で開催している最中です。

去年からのコロナの影響でオンライン起業に興味を持つ方も増え、私が参加したビジネスコースにも日本と世界50カ国に住む日本人の方が加され、目標に向かって一緒にチャ



2000年 カリフォルニア州立大学フルトン校
TESOL 修士課程 クラスパーティー

レンジをする仲間が世界中にでき
ました。まだ実際に会ったことのない
方たちですが、チャットや
Zoom、ライブ配信を通して昔か
らの知り合いのような親しい関係で
お付き合いをしています。

そのご縁で、日本と北米を結ぶグ
ローバルオンライン読書会の運営ス
タッフとして携わる機会や、世界中
に住む日本人女性支援コミュニテ
ィの一メンバーとして、世界を繋げ
た50時間連続ライブ配信イベントの
企画と運営に携わる機会を頂きました。
また、世界で働く日本人女性向
けのウェブサイトでコラムニストと
して貢献する機会にも恵まれるなど、
夢のようなことが起きています。



2001年 カリフォルニア州立大学フルトン校 修士課程卒業

こうして振り返ってみたことで、
私にとってかけがえのないものとは、
「人との出逢い」だと再確認しました。
今、これを読んでいるあなたも含め、
本来なら出逢うことのなかった方た
ちばかりなのですが、ご縁があつて、
人生が交差しました。自分の外にあ
る世界もそうですが、心の中の世界
も、今まで出逢った方達のおかげで
より豊かなものに、そして、これか
ら出逢う方たちのおかげでさらに豊
かなものになっていくことでしょう。

恐縮ながら「同窓生の活躍」ペー
ジに執筆させて頂き、お声をかけてく
ださった同級生たちに心より感謝を
申し上げます。



2019年 カナダ現地校 3/4年生クラス
開拓村体験課外授業



オンタリオ湖 トロント

コロナ禍の中、 31年ぶりの 市民劇を上演

那須 なす
敦志 あつし
(第26期)



市民劇の稽古場にて

舞台写真提供
アイディアサンタ でじたるばば

Profile

1976年 北高を卒業
1982年 明治大学文学部(演劇学専修)を卒業
1982年 NHKに入局、以降、北海道内各放送局および東京の放送センターで
記者・ディレクターとして勤務
2010年 旭川放送局長となる
2013年 郷土史エピソードをまとめた「知らなかった、こんな旭川」を出版
2016年 「あの日たち、へ 旭川・劇団『河』と『河原館』の20年」を出版
2018年 旭川歴史市民劇実行委員会を立ち上げ、総合プロデューサー・脚本担当となる
2020年 旭川歴史市民劇予告編(プレ公演)を上演
2021年 旭川歴史市民劇本公演を上演

***あれから45年！**

そう言えば、卒業年っていつだったけ？ 今回、原稿の依頼を受けて思い返しますと……。そう、昭和51年。ということは、なんと45年前！ ついこの間のように感じるのに、時が過ぎるスピードのなんと早いこと。体のあちこちにガタが来ているのも仕方ありません。

そんな老いの入り口に差ししかかった私が、ここ数年取り組んだのが旭川の市民劇です。ここでは、コロナ禍により思わぬロングランとなった試みについて紹介させていただきます。

***1本の脚本から**

最終的には1000人を超す人が関わった今回の市民劇。きっかけは1本の脚本でした。NHK旭川放送局長時代から、ふるさとの郷土史について情報発信を続けていた私。ある日、頭の中に突然一つの物語が降りてきました。

舞台は大正末から昭和初期にかけての旭川。

詩人、小熊秀雄(おぐまひでお)、画家、高橋北修(たかはしほくしゅう)、カフェー店主、速田弘(はやたひろし)。架空の10代の若者達が、こ

うした当時活躍した実在の人物と出会い、自らの生きる目的を見つける成長譚でした。

なぜ脚本だったかと言うと、私は大学の演劇学科出身。学生劇団で脚本を書いていた時期があり、一番身近な創作の方法だったのです。

半年ほどで書き上げた脚本は、幸い旭川の演劇人の目に止まり、2017年春、市民劇の形で上演を目指すことになりました。



旭川歴史市民劇のチラシ・パンフレット



感染防止に努めながらの稽古

験のない出演者も多くいたため、本公演の半年前にプレ公演を行うことにしました。

幸い取り組みは多くの市民の関心を集め、2020年2月、旭川市民文化会館小ホールで上演した2回のプレ公演は、大入り満員の盛況ぶりでした。

*立ち阻んだ感染拡大

立ち上がりは順風満帆だった今回の市民劇。ところがプレ公演の直後、大きな壁に立ち阻まれます。そう、新型コロナウイルスの感染拡大です。

演劇は生身の役者と観客が、同じ時間、空間を共有する実に人間臭い営みです。劇場の閉鎖や公演の延期、中止が全国で相次ぐなか、我々も活動の中断を余儀なくされました。本公演も年度ギリギリの2021年3月まで延期することにし、会場も文化会館大ホールから小ホールに変更しました。

閉鎖や公演の延期、中止が全国で相次ぐなか、我々も活動の中断を余儀なくされました。本公演も年度ギリギリの2021年3月まで延期することにし、会場も文化会館大ホールから小ホールに変更しました。

*コロナ禍のもとでの稽古再開

活動休止から4か月、感染状況の落ち着きを待って、夏に稽古を再開しました。しかしその様子は中断前とは一変しました。稽古前の検温や手指の消毒の徹底はもちろんですが、

常時マスクを着用。ときによってフェイスシールドも併用しました。再開直後の本読み(脚本の読み合わせ)では、手作りの飛沫防止シールドを用意しました。

キャストの中には、介護、医療、教育の各関係者も少なくなく、長期に渡り稽古に参加できなかった人もいました。稽古場では、多くのキャストが代役を務め、不在のメンバーのカバーに当たりました。

*感染対策し公演

そして迎えた本番当日。客席はキャパの半分にして完全予約制。会場内での会話も控えてもらいました。普段なら、終演後、キャストが観客を見送るのですが、これも控えました。キャスト・スタッフには公演の前後2週間、検温結果を報告してもらい、楽屋も一人ひとりが十分に距離を取りました。もちろんお決まりの打ち上げも今回はなしです。

こうした中でもキャストたちは、数こそ当初より大幅に少なくなつたとはいえ、観客の前で演じることの喜びを全身で感じ、見事な演技を見せてくれました。

カーテンコールでは、私自

身、なかなかおさまらない拍手に震えるような感動を覚えました。

*さまざまな「使命」

今回、プレ公演、本公演とも無事上演することができたのは、ともに感染の拡大期ではなかったという幸運もありました。ただ、やはり参加者一人一人が、状況の変化に一喜一憂せず、自分たちができることを最大限真面目にやる、そこに徹したことが大きかったと感じています。



ソーシャルディスタンス仕様の客席

*プレ公演まで

かつてのマチの歴史を、今マチに住む人々が演じる。

趣旨に賛同してくれた有志が実行委員会を結成。地元演劇人を中心に制作体制を決め、公募に応じた10、80代のさまざまなメンバーが集まりました。

ただ旭川での市民劇の実施は実に30年ぶりのことです。手探りで進むことが予想されたため、公演は2020年夏とし、2018年夏から稽古を始めました。さらに舞台経



本公演の舞台



本公演の舞台



本公演のラストシーン

「あなたには、あなたの使命がある」
劇の中で、小熊秀雄が、のちに日本を代表する歌人となる齋藤史（さいとうふみ）に語った言葉です。「自分の使命とは何か」は、今回の劇の大きなテーマの一つでした。
実は、本公演が半年あまり延期されたことで、さまざまな事情から舞台に立つことができなかったメンバーがいました。残された人達は、自分を律して感染防止に努め、舞台を実現させることを、まずは使命と感じてくれたように思います。

また今回は会場変更等で予定していたチケット収入が大幅に落ち込み、その減少分を多くの企業、個人の協賛金でまかさないました。これも郷土の歴史を多くの人に知ってもらおうという今回の劇の目的に使命があったからこそ、支援が得られたのだと思います。

***おしまいに**
最後にもう一つ、この取り組みには、次代につなげる種を撒く、という使命もありました。実は市民劇に参加した若者達が新しい劇団を立ち上げ、活動を始めています。いずれ行われる旗揚げ公演。もしかしたら、私にとって一番うれしい瞬間になるかもしれません。

（今回の市民劇について興味を持たれた方は、旭川の「まちなかぶんか小屋」でDVDを販売しています。市民劇の取り組みや脚本、歴史解説などを載せた本も7月末に刊行されました）

進路指導部(全日制)

佐々木 崇裕

本校は単位制導入以来、進学先をどんどん広げ、近年では道内はもちろん、約半数が北海道を離れ、関東圏にとどまらず、九州、沖縄まで進学しています。それは高校在学中に自分がどの分野に興味関心があるのかをしっかりと考え、自分が学びたいことを学べる場所を求めた結果と言えます。

単位制の進路指導では、1年次より、将来を見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。また、若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も昨年度で11回を数え、参加した後輩達に大変好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持てるように進めています。

近年は「入れる大学」から「入りたい大学」を選ぶ者が増えてきました。昨年度、今年度ともに早期から対策を進め、昨年度は大阪大、北大、札幌医科大学へ、今年度は神戸大、北大に現役で合格しました。また、浪人生も健闘し、北大等へ進学しました。

今春入試からは「大学入学共通テスト」がセンター試験に変わり、スタートしました。思考力、判断力、表現力を重視した出題となり、英語では筆記、リスニングから、リーディング、リスニングに変わり、配点も変化しました。英語の外部検定試験の導入や、共通テストにおける記述式問題は見送られましたが、ウィルス感染症に伴う一斉休校等、今春の受験生は大変な状況下にありました。その中で、本校の卒業生は、目の前の進路実現に向けてコツコツと努力を続けることで、自らの道を切り拓いていきました。行事や部活動の大会中止など、悔しい気持ちがあったと思いますが、この状況を乗り越えた力は将来、社会

で活躍する原動力になるものと信じています。昨年度、一昨年度の進路状況につきまして、資料に掲載してある通りです。一昨年度は早稲田大、慶応大などの首都圏難関私立大への合格や、北大に2桁の合格者を出すなど、非常に健闘してくれました。また、昨年度は国公立大学に143名が現役合格するという、生徒の努力が結実した結果となりました。本校では、これからの社会に必要な力の一つとして「失敗を恐れず、何事にもチャレンジする力」を重視しています。生徒たちから話を聞いてみると、「不安」は知らないことから生まれることが多いようです。そこで本校では、総合的な探究の時間や、進路行事の中で、現に社会で活躍されている「大人」の生の話を聞かせたいと考えています。同窓会の皆様には、ぜひとも、先輩として後輩に話す機会をいただけたらと思いますので、進路指導部までご連絡いただけると幸いです。

【国公立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H28	H29	H30	R1	R2
北海道大	7	11	6	12	9
北海道教育大	30	21	27	28	35
室蘭工業大	6	14	8	4	4
北見工業大	1	5	2	4	2
小樽商科大	6	4	10	8	8
帯広畜産大	3	1	4	2	1
旭川医科大	10	7	9	7	10
弘前大	8	6	5	11	9
岩手大	1	4	4	4	4
東北大	1	1	1		
秋田大	1	1		1	1
山形大	1	6	2		
茨城大	2	1		2	
筑波大	1				1
宇都宮大	2	2			
埼玉大	2	2	1	1	2
千葉大	1	1		2	
群馬大				1	
東京藝術大			1		
東京外語大					
東京農工大		2		1	1
横浜国立大		2		1	1
新潟大	7	3	3	4	7
富山大		2	3	1	2
岐阜大					
金沢大	2	1	4	4	3
信州大	2	2	1	1	
静岡大	3	1	7	4	2
名古屋大		1			
京都大	1	1	1		
大阪大	1			1	
神戸大	1				1
広島大					
長崎大	1		1		1
琉球大					
札幌医科大学	3	1	3	2	7
札幌市立大	6	3	2	2	1
公立はこだて未来大	1		2	2	2
釧路公立大	2	6	2	4	11
名寄市立大	7	6		8	6
千歳科学技術大(R1~)			15	3	4
高崎経済大		1	2	4	
神奈川県立保健医療大					1
東京都立大	2	2	2	1	1
横浜市立大			1		
都留文科大			1	2	3
新潟県立大	1	1			
愛知県立大	1	1			1
その他	7	8	5	3	12
国公立大計	131	132	134	135	153

※旭医大 医学科 H23(1),H24(3),H26(2),H27(1),H28(2),H29(1),H30(1)
 ※札幌医大 医学科 H27(1),H28(1),R1(1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H28	H29	H30	R1	R2
藤女子大	6	14	10	11	6
北星学園大	15	15	14	28	27
北海学園大	30	38	30	36	37
天使大	4	2	6	3	5
北海道科学大	8	37	32	36	11
酪農学園大	6	4	3	10	10
北海道医療大	12	9	20	19	15
日赤北海道看護大	6		2	6	3
北海道文教大	7	4	3	8	4
獨協大	2	7	1	6	3
青山学院大	2	3	3	3	2
学習院大	1	1	1	2	1
慶應義塾大			2	1	
東京女子大					
駒澤大			1	2	
上智大	1			1	
専修大	4	5	3	1	1
創価大	2	4		1	
中央大	14	6	7	5	3
津田塾大	2		1	1	
東海大	1	5	6	2	4
東京農業大	3	1	3		
東京理科大	2	4	2		
東洋大	7	5	2	4	4
日本大	2	5	1	7	4
明政大	8	11	8	11	4
明治大	3	2	1	4	3
明治学院大	1	4		1	
立教大	1	2	2	4	2
早稲田大	1	2	1	1	1
神奈川大	2	2	2	1	
京都外大	1				
同志社大	5	1	2	2	1
立命館大	2	2	2	4	2
関西大			1	1	
近畿大	2	3	1	4	
関西学院大		1	2	2	1
その他	75	84	54	104	99
私立大合計	234	283	229	332	253

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

種類	H28	H29	H30	R1	R2
国家公務員	1		2	3	2
道職	1	2		2	2
市町村職員	1	1		3	2
他の公務員	1	4	2	2	4
民間就職	1				

令和2年度 進路別人数 卒業生の進路

区 分				合 計			前年	
				男	女	計		
卒 業 者 数				74	160	234	271	
進 学 希 望 者 数				74	157	227	267	
進 学 者 数				64	148	212	240	
進 学 先 内 訳	大 学	国 公 立	道 内	32	52	84	75	
			道 外	16	27	43	41	
		私 立	道 内	5	36	41	49	
			道 外	9	17	26	43	
		短 大	国 公 立	道 内	0	0	0	0
			道 外	0	0	0	0	
	大 学 校 等	私 立	道 内	0	1	1	1	
			道 外	0	0	0	0	
		大 学 校 等		0	0	0	2	
		学 専 門 校 門	看 護	道 内	0	6	6	14
				道 外	0	0	0	0
		校 門	そ の 他	道 内	2	7	9	13
道 外	0			1	1	2		
就 職	公 務 員		0	3	3	4		
	民 間		0	0	0	0		
自 営： 家 事 手 伝				0	0	0	0	
そ の 他（未 定 を 含 む）				10	10	20	27	

国公立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
学 級 数	6	6	6	6	6	6	7	6
合 格 者 数	91	120	97	107	113	119	126	143
人 / ク ラ ス	15.2	20.0	16.2	17.8	18.8	19.8	18.0	23.8

難関国公立大、医学科合格者数(現役)

大 学 名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
北 大 (文 系)	3	2	1		1	2	3	1
北 大 (医 理 系)	7	11	1	5	6	3	8	7
札 医 大 (医)				1			1	
旭 医 大 (医)			1	2		1		
北 大	2		1	1	1	1		
筑 波 大		1			1			
東 京 工 業 大	2							
東 京 外 国 語 大		1						
名 古 屋 大					1		1	
京 都 大	1	1	1					
大 阪 大				1			1	
神 戸 大			2	1				1
計	15	16	7	11	10	8	13	9



令和元年6月から令和3年3月までの
成績（大会の結果等）を中心とした部
活動の紹介及び近況報告です。

●野球部

今年度は3年生10名、2年生9名、1年生10名、マネージャー4名の計33名で活動しています。

昨年の秋季大会では、初戦の旭川工業高校に2対3で敗れました。攻撃面、守備面ともに自分たちの未熟な部分が出てしまい、とても悔しい大会になりました。

冬期練習では、ウエイトトレーニングやサーキットトレーニングなどを含めた体づくり、チームプレーを意識したキャッチボールとボール回しなどを中心に練習を重ねました。練習の中で、技術力不足に対する危機感の無さ、一人ひとりの意識の低さ、自覚の無さ、行動の遅さなど多くの課題がありました。しかし、全員で克服できるように練習に取り組みました。

雪が溶け、練習試合など実戦を経験して迎えた春季大会では、1回戦に旭川明成高校と対戦し、3対5で敗れました。1つの目標であった夏の選手権大会のシード権を獲得することはできず、一球の重み、試合の流れの大切さ、やってきた練習の甘さを痛感しました。

最後の選手権大会に向けて、この悔しさをばねに、応援してくださる保護者、OB、生徒、先生方などすべての方々に「勝利」という形で感謝を伝えられるように全力で頑張ります。

●ソフトテニス部

昨年度は残念ながら高体連地区大会が中止となり、卒業した3年生の先輩方にとって最後の挑戦の場が失われてしまいました。代わりに校内での引退大会を開催し、先輩たちと最後まで真剣にソフトテニスに向き合うことができました。その後、1年2年合わせて8人の部員で力を合わせ、コーチの指導の下技術を磨き、新人戦地区予選において3位決定戦で旭川西高に勝利し、念願だった団体での全道大会進出を果たすことができました。2月に行われた全道大会では1回戦は下川商業高校に快勝、続く2回戦は第1シードの札幌龍谷高校と対戦しました。1-2で惜敗しましたが、自分たちの技術が十分通用する、自信につながる大会となりました。

現在は3年生5名、2年生3名、1年生7名の計15人で活動しています。先日行われた高体連地区大会においては、各ペア日々の練習の成果を発揮して試合に臨み、阿部・小松ペアがベスト8に進出して全道大会出場権を得ました。団体戦においては予選リーグを1勝1敗で突破し、決勝トーナメントにおいて旭川西高に勝利、準決勝の旭川実業には力及ばず敗れましたが、全道大会をかけた3位決定戦において旭川東高に勝利し、高体連で団体戦全道大会出場権を得ることができました。

日々私たちを見守り、支えてくださる保護者と先生方、何より忙しい中私たちのために時間を割き、ソフトテニスと真剣に向き合い、楽しむことの大切さを教えてくださるコーチに感謝し、これからも全力でソフトテニスに取り組んでいきます。

●男子テニス部

今年度の男子テニス部は、3年生2名、2年生5名、1年生4名の計11名で活動しています。昨年度は、高体連が中止となり、新人戦の予選である夏季大会からのスタートでした。3年生がダブルスで準優勝を果

たし、上々の滑り出しだったのですが、新人戦ではそのプレッシャーなのか、個人戦シングルス・ダブルスとも実力を発揮することができませんでした。また、団体戦もこの時点で部員が6名であったため2部出場という形になり、いずれも思ったような結果を出すことができませんでした。

雪辱をかけて、冬季の大会に向けて練習を積んでいきましたが、またコロナの影響により2大会が中止となり、春を迎えました。高体連の前哨戦である春季大会では、ダブルスで2年生ペアがベスト4、3年生ペアがベスト8に入りましたが、シングルスはなかなか思うような結果となりませんでした。ただ、団体戦は第3シードを勝ち取ることができたので、冬場の練習が少しづつ結果として表れてきた印象をもちました。

そして、高体連。今年度は、団体戦・ダブルス2本全道大会へ進出することができました。ダブルスでは、2年生と3年生のペアが全道を勝ち取り、練習でやってきたことを試合で表現することができました。全道では高い壁にはばまれましたが、その悔しさを特に新体制ではバネにしていきたいと考えています。今後も、テニスを通して自分と向き合うことで、積み重ねることの大切さや、周囲の支えを感じながら、部員一丸となってテニスに打ち込ませていきたいと思っています。

●女子硬式テニス部

今年度の女子硬式テニス部は3年生4名、2年生2名、1年生6名で活動しています。多くの1年生が入部してくれて賑やかになりました。

昨年度実施されなかった春の高体連などの大会の分まで取り返そうと、生徒は一所懸命練習に取り組み、昨秋の新人戦旭川支部大会では団体戦において全道大会代表決定戦で敗れるも第3位、個人戦ダブルスにおいては当時1年生の町谷・木原組が全道代表権を獲得し、全道でも1勝を挙げることでできました。

今年度、高体連旭川支部大会においては久々に団体戦での全道大会出場権を獲得し、個人戦でもシングルスでは町谷が、ダブルスでは町谷・木原組が全道大会代表権を獲得しています。

さる6月に開催された全道大会では団体戦で初戦、苫小牧東高と対戦し、複1、単2全てに勝利し、1勝を挙げることでできました。2回戦では第1シードと対戦、完敗を喫しましたが、3年生には大きな思い出に、2年生には大きな財産となりました。個人戦では単複いずれも初戦から強豪との対戦となり、勝利することはできませんでしたが、今後の練習に向けて良いモチベーションとなっています。

今後は少ない2年生と元気な1年生が一丸となり少しでも上を目指して切磋琢磨していくつもりです。高校入学前からテニスの経験がある生徒が増えたこともあり、期待できるチームとなりそうです。まずは秋季大会で昨年度以上の成績を挙げる事を目標にしながら、テニスを通した自身の育成を図りたいと考えていますので今後とも応援、ご支援をよろしく願います。

●男子バレーボール部

今年度は現3年生が主体のチームになってから、なかなか勝つことが難しく、前半の大会では思うような結果を残せませんでした。その後、練習試合やミーティングを重ね、精一杯練習をし、冬季大会で勝利を収めシード権を取ることができました。それが自信となり実力をつけていきました。今年の春になって新入部員がどれだけになるのか不安でしたが、1年生12名、2年生2名が入部してくれました。高体連に向けてチーム一丸となって練習をし、支部大会では決勝トーナメントに残るも、一回戦で負けてしまいました。全道大会出場という目標は達成することができませんでしたが、最後まで応援して支えてくれた保護者の皆様、顧問の先生、友人の皆さん、本当にありがとうございます。

【大会結果】

令和元年度

◇旭川支部秋季大会(予選敗退)

予選第1試合

旭川北 0-2 旭川東

第2試合

旭川北 0-2 旭川高専

令和2年度

◇高体連旭川支部大会代替大会

予選グループ戦

旭川北 0-2 旭川工業

旭川北 1-1 旭川明成

決勝トーナメント

旭川北 0-2 旭川永嶺

旭川北 0-2 旭川西

◇旭川支部秋季大会(予選敗退)

予選第1試合

旭川北 0-2 旭川永嶺

令和3年度

◇旭川支部春季大会(2回戦敗退)

1回戦 旭川北 2-0 旭川高専

2回戦 旭川北 1-2 富良野

◇高体連旭川支部予選会(ベスト8)

予選グループ戦

旭川北 0-2 旭川工業

旭川北 2-0 旭川高専

決勝トーナメント

旭川北 0-2 旭川工業

●女子バレーボール部

現在、選手22名・マネージャー3名で活動しています。感染症の影響で、活動に多くの制約がある中、「できる範囲で最大限やる」「限られた時間を大切に」「メンバーを大事にすることを心がけてきました。『私立を倒すのはウチらだ！』として全道大会出場！」をチーム目標に掲げ、現状に満足することなく、個々の選手はもちろんのことチームとしても大きく成長してきました。特に1年ぶりに実施されたゴールデンウィークの合宿では、他地区の様々なチームと

の練習試合の中で、疲れていてもできる本当の実力を身につけることができました。今年度の高体連支部大会では、ベスト4に残り私立高校と対戦したものの、勝ちきることとはできず、全道大会出場は叶いませんでした。しかし、全国大会常連校である旭川実業をはじめ、レベルの高いチームとの対戦から多くの刺激を受け、多くのことを学びました。この経験を今後の活動に必ず活かし、チーム目標を達成できるように頑張っていきます。これからも応援よろしく願います。

◇旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会

1回戦

旭川北 1-2 旭川東

旭川北 22-23 旭川東

旭川北 23-23 旭川東

◇全日本バレーボール高等学校選手権大会

北海道予選会旭川地区競技会

1回戦 旭川北 2-0 旭川藤星

旭川北 25-0 旭川藤星

2回戦 旭川北 0-2 旭川大学高

旭川北 12-17 旭川大学高

旭川北 25-25 旭川大学高

◇旭川支部バレーボール冬季大会

1回戦 旭川北 0-2 旭川明成

旭川北 10-25 旭川明成

旭川北 9-25 旭川明成

◇北海道高等学校バレーボール新人大会

旭川地区予選会 (令和2年1月12日)

1回戦 旭川北 2-0 旭川西

旭川北 25-18 旭川西

旭川北 25-17 旭川西

決勝リーグ 第1試合

旭川北 0-2 旭川大学高

旭川北 19-25 旭川大学高

旭川北 25-27 旭川大学高

決勝リーグ 第2試合

旭川北 0-2 旭川龍谷

旭川北 12-25 旭川龍谷

旭川北 25-25 旭川龍谷

決勝リーグ 第3試合

旭川北 0-2 旭川明成

旭川北 16-25 旭川明成

旭川北 16-25 旭川明成

※第4位(第4シード権獲得)

◇旭川バレーボール協会理事長杯

【高体連代替大会】(令和2年7月23日)

予選リーグ 第1試合

旭川北 2-0 富良野緑峰

旭川北 25-21 富良野緑峰

旭川北 25-8 富良野緑峰

予選リーグ 第2試合

旭川北 0-2 旭川大学高

旭川北 13-10 旭川大学高

旭川北 25-25 旭川大学高

決勝トーナメント 1回戦

旭川北 2-0 旭川農業

旭川北 25-11 旭川農業

旭川北 25-16 旭川農業

決勝トーナメント 2回戦

旭川北 1-2 旭川西

旭川北 24-26 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-19 旭川西

旭川北 26-19 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-26 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-19 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-26 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-19 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-26 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-19 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-26 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-19 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

決勝リーグ 第3試合

旭川北 0-2 旭川大学高

旭川北 13-14 旭川大学高

旭川北 25-25 旭川大学高

※第4位(第4シード権獲得)

◇北海道バレーボール新人大会

旭川地区予選会 (令和3年1月10日)

1回戦

旭川北 2-0 旭川西

旭川北 25-23 旭川西

旭川北 25-18 旭川西

2回戦

旭川北 0-2 旭川龍谷

旭川北 16-11 旭川龍谷

旭川北 25-25 旭川龍谷

3位決定戦

旭川北 0-2 旭川明成

旭川北 19-14 旭川明成

旭川北 25-25 旭川明成

※第4位(第4シード権獲得)

◇旭川支部バレーボール春季大会

1回戦

旭川北 2-0 旭川永嶺

旭川北 25-9 旭川永嶺

旭川北 25-6 旭川永嶺

2回戦

旭川北 2-1 旭川西

旭川北 25-20 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 19-25 旭川西

旭川北 25-22 旭川西

旭川北 20-19 旭川西

決勝リーグ 第3試合

旭川北 0 (21-25) 旭川明成
7-25 2

※第4位(第4シード権獲得)

●サッカー部

現在サッカー部は顧問の安藤先生、木下先生とともに3年11人、2年12人、1年15人、マネージャー5人の43人で活動しています。北高は進学校で唯一道北ブロックリーグ一部に所属しています。私たちが、このカテゴリーで戦えるのは先輩たちの努力のおかげです。私たちも一部残留を達成し、後輩達にたすきを託したいと思います。



この場を借りて先輩達にお伝えしたいことがあります。令和3年度の高体連でサッカー部は10年ぶりに全道大会出場を決めました。2回戦旭大戦はPKまでもつれ込み、代決の南戦も拮抗した内容でしたが、どちらとも何とか勝ちきり全道の出場権を手に入れました。今後も良いニュースをお届けできるように頑張りますので、応援よろしくお願います。

令和元年度

◆高体連旭川地区予選

1回戦 高専 3-1

2回戦 旭大 0-6

◆選手権旭川地区予選

1回戦 留萌 2-2 PK 5-4

2回戦 商業 1-4

◆道北ブロックリーグ一部(14節)

4勝3分7敗 5位(8チーム中)

◆フットサル旭川地区予選

予選リーグ

1勝2敗 で敗退

令和2年度

◆高体連旭川地区予選(代替大会)

1回戦 西 3-0

2回戦 旭大 0-5

◆選手権旭川地区予選

1回戦 富良野 1-0

2回戦 旭大 0-3

◆道北ブロックリーグ一部(7節)

4勝3敗 4位(8チーム中)

◆フットサル旭川地区予選

1回戦 商業 4-2

2回戦 実業 1-1 PK 1-2

令和3年度

◆高体連旭川地区予選

1回戦 農業 4-0

2回戦 旭大 0-0 PK 4-2

3回戦 南 1-0

決勝 実業 0-2

(準優勝で全道大会進出)

●陸上競技部

陸上競技部は男子12名、女子9名、マネージャー2名の計23名で活動をしています。令和2年度はコロナ禍の影響で高体連が中止となり、新人戦と全道高校駅伝に出場しました。新人戦では支部大会で勝ち上がった4名の選手が全道新人大会に出場することができ、男子走高跳では8位入賞の結果を残すことができました。全道高校駅伝では出場選手7名のうち中長距離選手が2名しかいない中、最後まで諦めずに襷を繋ぐことができ、貴重な経験をすることができました。

令和3年度の高体連支部大会では5名の選手が高体連全道大会の出場権を得ることができました。

年間を通して一人ひとりが個人目標を立てて、さらにチームでもスローガンを掲げ、部員全員で切磋琢磨し、厳しい練習に取り

組んでいます。

顧問の先生をはじめ、両親、陸上競技関係者の多くの方々の応援、ご指導、ご支援をいただきありがとうございます。今後もより一層練習に励み、一人でも多くの選手がインターハイに出場できるように頑張っていきたいと思います。これからも旭川北高校陸上競技部の応援をよろしくお願います。

陸上競技部 成績

令和元年

◆第72回北海道高等学校陸上競技選手権大会

帯広市 帯広の森陸上競技場

吉田 将人(2年) 男子5000m

予選敗退

谷 依吹(3年) 女子2000m

準決勝敗退

塚本 千尋(3年) 女子1000m H

予選敗退

谷口 愛実(3年) 女子5000m W

第1位

吉澤 紀織(3年) 女子5000m W

第4位

中西 麻実(3年) 女子走高跳

第4位

菅家 由梨香(3年) 砲丸投

予選敗退

田盤投 予選敗退

ハンマー投 第16位

女子4×100m R 準決勝敗退

女子4×400m R 準決勝敗退

◆第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

沖縄県沖縄市 タピック県総合体育館

谷 依吹(3年) 女子400m

予選敗退

谷口 愛実(3年) 女子5000m W

予選敗退

吉澤 紀織(3年) 女子5000m W

予選敗退

中西 麻実(3年) 女子走高跳

予選敗退

◆第35回北海道高等学校新人陸上競技大会

函館市 函館千代台陸上競技場

吉田 将人(2年) 男子5000m

第26位

岩田 大裕(2年) 男子走高跳

予選敗退

藤原 音々(2年) 女子2000m

予選敗退

女子4000m

予選敗退

鉢呂 七海(2年) 女子ハンマー投

第19位

◆第72回北海道高等学校駅伝競走大会

北見市 北見市端野町特設駅伝コース

下西 岩田 佐藤 小川 泉水 北 岩城

第29位

令和2年度

◆第36回北海道高等学校新人陸上競技大会

室蘭市 室蘭市入江公園陸上競技場

村上 翔梧(2年) 男子走幅跳

予選敗退

高橋 理沙(2年) 女子1000m H

予選敗退

藤原 虎太郎(1年) 男子走高跳

1m80

相川 瑠南(1年) 女子400m H

予選敗退

◆第73回北海道高等学校駅伝競走大会

北見市 北見市端野町特設駅伝コース

小川 藤原 坂口 泉水 浅野 川田 村上

第36位

令和3年度

◆第74回北海道高等学校体育連盟陸上競技

旭川支部予選会

旭川市 花咲スポーツ公園陸上競技場

村上 翔梧(3年) 男子走幅跳

第3位

高橋 理沙(3年) 女子1000m H

第3位

藤原 虎太郎(2年) 男子110m H

第3位
男子走高跳 第1位
遠藤 優太(1年)男子5000m 第1位
男子3000m SC
第4位
北川 逢佑(1年)男子5000m W
第1位

●卓球部

卓球部は、男子23名、女子11名で日々全力で練習に取り組んでいます。高体連旭川支部大会の結果は、男子団体2位、女子団体優勝と、長年の目標であった男女での全道大会出場を果たしました。個人戦でも、男女ダブルス、女子シングルスで代表を獲得し、充実した結果を残すことができました。

全道大会でも悔いのない結果につなげることができるよう、日々の練習を怠らずに一生懸命準備をしたと思います。また、新人戦でも男女での全道大会出場を果たし、常に納得のいく結果を残すことができるよう、部員全員で協力しながら日々の活動に取り組んでいきます。これからも応援よろしく願います。

(大会結果)

◇令和元年度 選抜(新人戦)全道大会
女子団体
予選トーナメント 3回戦敗退
男子ダブルス
六戸・浦崎組 ベスト16
女子ダブルス
十河・中村組 2回戦敗退
楠・杉野組 1回戦敗退
◇令和2年度 選抜(新人戦)全道大会
女子団体
予選トーナメント 3回戦敗退
男子シングルス
浦崎 2位
◇令和3年度 高体連 旭川支部予選

女子団体 優勝
男子団体 2位
女子ダブルス 清杉・西村組 準優勝
男子ダブルス 浦崎・徳島組 ベスト4
女子シングルス
清杉 準優勝、西村 ベスト8
以上全道大会出場権獲得(令和3年6月釧路市予定)

●バドミントン部

バドミントン部は男子20人、女子16人の計36人で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。

昨年度は北海道高等学校新人大会で女子団体ベスト8、今年度は国体全道大会の個人戦シングルスでベスト8、そして高体連地区大会では度重なる激戦の末、女子団体3位で全道大会出場権を得ることができました。旧体育館が使用できなくなつたことに加え、コロナ禍で練習や体育館割が激減しましたが、顧問の先生をはじめ、OBやOG、大学生の方など多くの方々の応援とご支援・ご指導をいただきながら、自分たちの努力の結果を出すことができ、感謝の気持ちと達成感でいっぱいです。今後も周囲の協力、バドミントンができることに感謝し、先輩方が残してくれた伝統や文化を残しつつ、自分たちに何ができるかをみんなど模索しながら活動し、「文武両道」凡事徹底を目指し、多くの人に応援してもらえる部活動となるよう努力します。

【令和2・3年度主な大会結果】

高体連支部大会および各種全道大会
◇高体連旭川地区予選
令和3年5月25日～27日
女子団体
女子単 石崎 3位
女子複 石崎・大城 4位
女子複 石崎・大城 ベスト8
◇国民体育大会北海道予選
令和3年5月7日～9日 苫小牧市

少年女子単 石崎 ベスト8

◇国民体育大会旭川地区予選
女子1部複 石崎・大城 8位
女子2部複 見角・三本木 3位
女子1部単 石崎 3位

◇北海道高等学校新人大会

令和3年1月21日～23日 釧路市
女子団体 ベスト8
女子単 石崎 ベスト16

●北高ソフト部

私たちソフトボール部は、「全道ベスト4」を目指し顧問の小野崎先生、本田先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。夏は合宿や遠征で練習試合をして経験を積み、冬では個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。

昨年はコロナ禍で高体連は中止となり、3年生には大変気の毒なシーズンとなりました。また、今年は1年生の入部が少なく、実践練習でも限られたプレーしか出来ていません。そんな中でも、今年の高体連では3年生を中心に守備を鍛えて、旭川商業に10対0で勝利し大会3連覇をすることが出来、旭川北高ソフトボール部の新たな1ページに足跡を残すことができました。

新チームでも、先輩方から教わったことを大事にし、新人戦で旭川商業に勝って、また、全道大会に行けるように、感謝の気持ちをお忘れずに日々の練習を頑張っていきたいと思っています。どうかこれからも応援をよろしく願います。

◇令和元年度 高体連全道大会
旭川北 11-3 札幌東商業
◇選抜新人大会
旭川北 13-12 旭川商業(大会3連覇)
◇選抜全道大会
旭川北 4-13 札幌北斗合同チーム
◇令和2年度 高体連代替大会

旭川北 11-3 旭川商業
◇選抜新人大会
旭川北 28-5 旭川商業(大会4連覇)
◇選抜全道大会
旭川北 0-18 とわの森三愛高校
◇令和3年度 高体連旭川地区予選
旭川北 10-0 旭川商業(大会3連覇)

●応援団

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部で構成されています。

応援団は少林寺拳法部の方が兼部してくれていて、少林寺拳法の動きのキレを活かして、応援団を常に引っ張ってくれています。



チアリーディング部は野球応援の他に、北高と地域とを繋げる窓口になれるよう、様々な地域のイベントに参加しています。今年はケーブルポテトさんの番組の取材を受け、5月いっぱい放送されました。コロナ禍だからこそ北チアとしてできること、それは多くの方にダンスを通じて笑顔になつてもらふことだと考え、やりがいを感じながら日々練習しています。

応援団として活動するのは野球応援や壮行会しかありませんが、そのときに最高の応援を届けられるよう、少林寺拳法部・チアリーディング部それぞれの部活で、常に全力で取り組んでいます。

チアリーディング部の活動実績

(2020年夏～2021年春)
・野球部引退試合応援(7月)
・学年レク(10月・3月)

・北チア Instagram 設立
・旭川オンラインフェスティバル参加[3月]
・旭川ケーブルポテト「HOP STEP
DANCE」出演[5月]

●剣道部

今年は新入生3名が入部し、男子8名、女子7名、総勢15名で活動しています。少ない部員ですが先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。凛とした姿で鋭利と活躍できる剣道部を目指しています。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じであるという考えのもと、文武のきりかえをしつかりして高校生活を充実させることができるように努力しています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどの大会が中止になりましたが、11月の支部新人大会では女子が団体、個人ともに優勝することができました。今年度も春季大会で女子が優勝し、高体連支部大会でも18年ぶりとなる優勝を果たすことができました。現在も緊急事態宣言のため学校での活動が制限された中ですが、大会が行われることに感謝し全国出場を目指して頑張りたいと思います。まだまだコロナの影響が続くことが予想されますが、これからも魅力的な剣道部づくりを目指して頑張っていきたいと思ひます。

日頃から北高の活動を支えてくださっている方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしくお願ひします。

令和3年度おもな大会結果

◇地区少年剣道大会

女子団体優勝、男子団体3位

◇全道段別選手権大会出場

女子3位の部

森崎(3年)、柴田(3年)、

田中(2年)

女子2位の部

久保田(2年)

男子初段

山崎(3年)、山村(3年)

※全道大会中止

◇春季大会 女子団体優勝

◇国体支部予選

女子優勝 江口(2年)、

2位 森崎(3年)、5位 柴田(3年)

※3名全道出場(6/26)

◇高体連旭川支部大会 女子団体優勝

女子個人 2位 江口(3年)、

4位 柴田(3年)、5位 田中(2年)

男子個人 4位 生駒(2年)

※女子団体、個人4名全道出場

令和2年度おもな大会結果

◇高体連旭川支部新人大会 女子団体優勝

女子個人 優勝 森崎(2年)、

5位 柴田(2年) ※以上全道出場

●男子バスケットボール部

今年度は3年生4名、2年生5名、1年生8名とマネージャー3名の20名で活動しています。部員が少ない期間が続きましたが、今年は人数も増え活気づいています。新人戦、春季大会とベスト4に残り、久々の全道大会への出場を期待されましたが、残念ながら2回戦敗退となつてしまいました。

これからスタートする新チームも活躍が十分期待できる状況です。再び全道大会出場を目指し頑張つて参りますので、応援をよろしくお願ひします。

令和元年度

◇選手権旭川地区予選

1回戦 旭川北 50―63 富良野

1回戦敗退

◇旭川支部秋季大会

1回戦 旭川北 74―68 旭川高専

2回戦 旭川北 61―95 旭川大学高校

2回戦敗退

◇新人大会旭川予選

1回戦 旭川北 83―43 旭川農業

2回戦 旭川北 48―121 旭川工業

2回戦敗退

令和2年度

◇U-18旭川カップ

1回戦 旭川北 78―61 旭川南

2回戦 旭川北 65―95 旭川永嶺

敗者戦 旭川北 68―97 旭川龍谷

2回戦敗退

◇選手権旭川予選

1回戦 旭川北 86―68 旭川南

2回戦 旭川北 51―93 旭川大学

2回戦敗退

◇新人大会旭川予選

1回戦 旭川北 62―53 旭川永嶺

2回戦 旭川北 63―44 旭川東

準決勝 旭川北 33―109 旭川大学

3位決定戦 旭川北 82―83(OT)旭川工業

4位

令和3年度

◇旭川地区春季大会

1回戦 旭川北 80―57 旭川南

2回戦 旭川北 59―58 旭川龍谷

◇高体連旭川支部予選

1回戦 旭川北 11―46 美瑛

2回戦 旭川北 58―72 旭川龍谷

2回戦敗退

●女子バスケットボール部

今年度は3年生4名、2年生4名、1年生4名の12名で活動しています。旧体育館が使えなくなったことや新型コロナウイルスの影響などにより活動が制約されていますが、旭川支部ベスト4入りを目標に日々練習に励んでいます。人数が少なく、チーム内ではゲーム形式の練習がしにくい状況ですが、他校との練習ゲームを通して自分たちの課題を見つけ、その後の練習で克服できるよう努力しています。

令和3年度は無事に高体連が開催され、3年生は練習の成果を出し切ることができました。今後も北高女子バスケット部の良き伝統を受け継ぎながら、全道大会出場を目指して頑張りたいと思います。

統を受け継ぎながら、全道大会出場を目指して頑張りたいと思います。

◇令和元年度 北海道高等学校バスケットボール選手権大会

旭川地区予選会

1回戦 旭川北 40―54 東川

◇令和元年度 旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会

1回戦 旭川北 46―60 旭川商業

◇第32回 北海道高等学校バスケットボール新人大会

旭川地区予選会

1回戦 旭川北 60―54 旭川西

ブロック代表決定戦

旭川北 38―101 旭川龍谷

◇令和2年度 U-18旭川カップ

1回戦 旭川北 28―94 旭川南

敗者戦 旭川北 55―49 旭川農業

敗者戦 旭川北 50―125 旭川実業

◇令和2年度 北海道高等学校バスケットボール選手権大会

旭川地区予選会

1回戦 旭川北 75―65 東川

2回戦 旭川北 42―108 旭川龍谷

◇令和2年度 旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会

1回戦 旭川北 29―96 旭川西

◇第33回 北海道高等学校バスケットボール新人大会

旭川地区予選会

1回戦 旭川北 63―91 旭川実業

◇令和3年度 旭川地区春季バスケットボール大会

1回戦 旭川北 60―41 旭川永嶺

2回戦 旭川北 36―130 旭川藤星

◇令和3年度 全国高等学校総合体育大会
バスケットボール競技大会

旭川支部予選会

1回戦 旭川北 55―35 羽幌
2回戦 旭川北 48―79 旭川南

●山岳部

山岳部は、男子8名、女子2名を新入部員に迎え、細野先生、内海先生、及川先生の指導のもと、男子9名、女子7名で活動しています。平日は週3回、ランニングや階段昇降などのトレーニングや、大会に向けて天気図・地形図を書いたり、山登りについで学習を行ったりしています。休日は主に十勝連峰の山々などの近郊の山々を登っています。また、夏や秋の連休には3、4日間の合宿を行ったりしています。去年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、合宿の回数は多くありませんでしたが、その中でも魚釣りやテント泊、たき火や焼肉など、山岳部ならではのイベントを楽しむことができました。特に、はんごうで炊くお米や釣りの魚を使った料理は格別の味です。

山の魅力と言えれば色々ありますが、特に我々が伝えたい魅力は「景色」です。10月に行われた秋季大会で山行した十勝岳・美瑛岳は、麓では紅葉、山頂付近では一面の銀世界が広がり、色のコントラストに感動しました。

また山岳部では、責任感を培うことができます。山行に行くためには、集団装備を分担したり、割り振られた役割を果たさなければなりません。よって1人1人に責任が伴います。この能力を培うことのできる山岳部は大変素晴らしい部活だと思います!!

去年の高校連は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になってしまいました。一昨年の地区大会では、男女ともに優勝、全道大会では僅差で男女ともに準優勝を果たしました。今年の地区大会は美瑛岳と美

瑛富士、全道大会は十勝岳と旭岳で行われます。インターハイ出場を目指し頑張っています。

追記 女子インターハイ出場決定しました!!

●アーチエリート部

アーチエリート部は3年生8名、2年生9名、1年生12名の計29名で活動しています。2019年秋の全道大会では、1999年以来的の男女団体優勝、翌年夏の男女団体でのインターハイ出場を目指して練習に励んでいました。しかしコロナ禍により2020年は春の全道・インターハイともにまさかの中止。3年生は引退という、無念の結果に終わりました。

2年振りに開催された2021年春の全道大会は、荒天のため最終日の団体決勝ラウンドがまさかの中止に。しかし予選順位が1位の男子団体が、インターハイ出場権を獲得しました。団体としては2003年以来18年ぶり、女子を含めても2017年以来4年ぶりとなります。8月20日に福井県鯖江市で開かれるインターハイでは、次につなげるよう、多くを学び、刺激を受けて来たいと思っています。

2019年度

◇インターハイ(8月、熊本県八代市)

男子個人33位 佐々木春哉
女子個人69位 中川彩名

◇日韓交流事業全国ブロック代表戦

(8月、岩手県栗石町)

男子出場 上西、鈴木、原
女子出場 中川、大塚、花田、大竹

◇秋季全道大会(9月、キロロ)

男子団体優勝(上西、鈴木、原、滝口)
女子団体優勝(中川、大塚、花田、大竹)
男子個人 ①上西貫太 ⑤原
⑧滝口

女子個人 ①中川彩名 ④大竹
⑤花田 ⑦大塚

◇国民体育大会(10月、茨城県つくば市)

中川彩名、大塚菜花 出場

◇全国選抜大会(3月、静岡県掛川市)

上西貫太、中川彩名
出場権獲得(大会中止)

2020年度

◇秋季全道大会(9月、キロロ)

男子団体2位 秋山、佐々木、齋藤、石黒
女子団体2位(山本、長野、中谷)

男子個人 ①秋山一真 ③佐々木
女子個人 ④山本 ⑧長野

◇全国選抜大会(3月、静岡県掛川市)

男子個人第25位 秋山一真

2021年度

◇春季全道大会(6月、キロロ)

男子団体優勝(秋山、齋藤、佐々木、石黒)
女子団体3位

(山本、高橋瑠、高橋亜、慶伊)
男子個人 ②秋山 ③齋藤 ④佐々木
⑧石黒

女子個人 ④深作 ⑤高橋瑠
⑥山本 ⑧高橋亜

●少林寺拳法部

現在、男子10名・女子17名の計27名で活動しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症防止のため6月の高校連全道大会、8月の道北大会が中止となり、最高年次の3年生は辛い引退になりました。最後まで後輩を気遣い、部を盛り立ててくれたことに対して、誰もが感謝しています。12月に何とか新人戦全道大会が動画審査によって開催され、この大会で1年次の室田が、女子規定単独演武に出場して準優勝し、3月に香川県で開催された全国大会に出場しました。令和3年度は、予定通り各種大会が行われることになっています。6月に札幌で高校連全道大会、11月に新人戦全道大会が実施されます。選手一同、全国大会への出場を目指し、日々修行に励んでいます。

◇令和元年 高校連全道大会

(6月15・16日 苫小牧東高校体育館)

(男子)

団体演武

三井③・長谷川③・山上②・伊藤②・板山②・高橋②組2位

組演武

三井③・長谷川③組 5位

単独演武

伊藤② 本戦出場
総合3位

(女子)

団体演武

木村③・森③・高岡③・村田③・五十嵐美②・前田②組 3位

組演武

木村③・森③組、高岡③・村田③組 本戦出場

単独演武

川越② 本戦出場

◇令和元年

(男子)

団体演武

山上② 板山② 高橋② 武井② 伊藤② 小嶋② 大田原① 安田① 3位

規定組演武

大田原①・高堰①組 3位

(女子)

団体演武

旭川北A 前田和 他 3位

規定単独演武

林① 2位

規定単独演武

(第23回全国高等学校少林寺拳法選抜大会出場権獲得 大会中止)

◇令和2年

高校連全道大会(6月 中止)

◇令和2年

新人戦全道大会(12月26日 道北地域旭川地場産業振興センター会議室)

(男子)

団体演武

安田②・保格②・大田原②・高堰②・森口①・平山①組 3位

規定組演武

森口①・平山①組 3位

規定単独演武

間藤① 3位

(女子)

規定単独演武

室田① 2位

◇令和2年

新人戦全国大会(3月27日、29日 香川県善通寺市民体育館)

規定単独演武

室田① 出場

●囲碁部

現在、男子12名、女子3名で元気に活動しています。昨年度は、東大阪市で行われた全国高等学校囲碁選抜大会に、個人の部(19路盤)の北海道代表として参加し、ベスト16という結果を残しました。

大会成績

◇令和元年度 第55回 全道高等学校囲碁選権大会(函館)

個人戦 7位 中西

◇令和元年度 第39回 高文連上川支部将棋大会(旭川)

団体 準優勝

◇令和元年度 第19回 全道高等学校囲碁新人大会(札幌)

個人戦 5位 中西

◇令和2年度 第15回 全国高等学校囲碁選権大会(東大阪)

個人戦 ベスト16 中西

●吹奏楽部

吹奏楽部は現在、1年生19名、2年生17名、3年生11名の計47名で活動しています。令和元年度、吹奏楽コンクール旭川地区予選において十数年ぶりに金賞を受賞いたしました。そして、まさにこれからという時期に、コロナ禍により令和2年度はほぼ全ての大会や発表の場を奪われてしまうこととなりました。特に、当時の3年生18名は辛く悔しい想いをしながらも、自ら志望する進路を実現して巣立っていきました。

状況は依然として厳しいですが、令和3



年4月末現在、今年度は例年の行事等が開催される予定です。引き続き、部員一丸となって精力的に練習、演奏に励んでいきたいと思っています。

【令和元年度の活動内容及び成績】

◇北海道音楽大行進参加

◇高文連上川支部音楽発表大会

コンクール部門 優秀賞

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選

高等学校A編成の部 金賞

◇第44回定期演奏会開催

(於：旭川市民文化会館大ホール)

◇未広地区ふれあいコンサート参加

◇北海道管楽器個人・

アンサンブルコンテスト旭川地区予選

フルート独奏 金賞

金管八重奏 金賞

フルート三重奏 金賞

【令和2年度の活動内容及び成績】

◇第44回定期演奏会代替特別演奏会開催

(於：本校体育館)

◇北海道管楽器個人・

アンサンブルコンテスト旭川地区予選

クラリネット独奏 金賞

(1位、旭川地区代表)

クラリネット六重奏 金賞

管打八重奏 金賞

◇北海道管楽器個人・

アンサンブルコンテスト北海道予選

クラリネット独奏 金賞(2位)

◇スプリングコンサート開催

(於：旭川市大雪クリスタルホール音楽堂)

【令和3年度の活動内容及び成績】(予定)

◇北海道音楽大行進(中止)

◇高文連音楽発表大会発表部門参加

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選(予定)

◇第45回定期演奏会

(8月29日 於：旭川市民文化会館大ホール)

●写真部

私たち写真部は現在1年生7名、2年生3名、3年生7名の計17名で活動しています。

写真部の主な活動は、校内や屋外での撮影会、写真甲子園や高文連への出展、学校祭での展示、学校行事や他部活の活動風景の撮影です。月に1度写真の講師の方に来ていただき、自分の写真についての講評をいただいたり、撮影技術を教えていただいたりしています。昨年からコロナウィルスの影響で遠くに出かけての撮影が出来ていませんが、その分校内での撮影会の回数を増やして活動しています。

学校祭の展示や高文連などに向けて部員一同頑張っています。

◇令和元年度高文連上川支部写真展・研究大会

銀賞 上村有佳里

銅賞 妻沼 空那

入選 涌井 春那

奨励賞 小原 遥奈

河野 史保

◇令和元年度高文連全道高等学校写真展・研究大会

入選 妻沼 空那

佳作 涌井 春那

◇令和2年度高文連上川支部写真展・研究大会

銅賞 小原 遥奈

入選 鉢呂 青久(3年)

長谷川空生(3年)

奨励賞 石田 楓乃(3年)

土屋 旬平(3年)

◇第27回全国高等学校写真選手権大会

写真甲子園

北海道新聞部長野勢英樹賞

妻沼 空那

土井 菜摘

大前 結

●美術部

今年度美術部は3年生8人、2年生5人、1年生9人の計22人で活動しています。油彩、ペン画、水彩、立体のジャンルで質の高い作品作りを目指しています。

現在は学校祭に展示する小作品と高文連へ向けての作品を制作中ですが、それぞれ自分の描きたいモチーフを探し、個性豊かな作品作りに取り組んでいます。全国総合文化祭にも4年連続の出品となり、今年度は和歌山県の大大会へ出場してきました。今年、美術部卒業生は教育大学岩見沢校に4名、旭川校に2名、長岡造形大学に2名合格しました。また、昨年までの卒業生は現在東京藝術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学、金沢美術工芸大学等で制作に励んでいます。今後も学業と両立しながら活躍することを期待しています。



●書道部

今年度は1年生6名が入部し2年生9名、3年生4名の合計19名で高文連・書道パフォーマンスに向けて日々作品制作をしています。活動は昨年度より本校卒業生である日暮 豊先生が着任し、専門的なアドバイスをいただきながら技術を磨いています。昨年は北高書道部初となる第1回校外展を西イオンモールで開催することができました。また護国神社では平和を記念した書道パフォーマンスを行い、作品を奉納させていただきました。



護国神社にて

今年度はアイスアリーナで行われる「旭山動物園動物墨画パフォーマンス」に向け、努力を惜しまず部員と協力しながら感動する作品を創りあげたいと想いを募らせています。

これから書道部は長年続く伝統を守り、書の新しい可能性にチャレンジし、より一層邁進していききたいと思います。

◇高文連上川支部書道展・研究大会 特選 3年 遠藤 弥夢 松本 香乃

2年 加藤 なこ美
竹内 心優
奥山 亜弥

1年 増田 あすか
高橋 芹那

秀作 3年 須藤 沙彩
1年 大野 ことみ
今村 百花

高橋 伊織

佳作 3年 谷口 瑞帆
1年 高岡 花菜
齋藤 小波

中野 夢菜
追出町 優杏
下井 健慎

◇高文連全道書道展・研究大会

支部大会にて特選に選出された3年生2名
2年生4名が出品・参加
全道優秀賞
3年 松本 香乃

◇書の甲子園(国際高校生選抜書展) 入選 3年 遠藤 弥夢 2年 奥山 亜弥

◇旭川北高校書道部 第1回 校外展 旭川イオンモールにて初出展

◇和プロジェクト 書道パフォーマンス 護国神社にて初参加

●新聞局

新聞局は主に学校行事を記事にして発行を重ね、学校生活の活性化に努めてきました。活動を継続していく内に、理解者が少しずつ増え、現在は3名の局員で活動しています。

これまで取り上げた内容は「校内のポジティブニュース」・「職員室の20代トリオにインタビュー」・「吹奏楽部定期演奏会」・「芸術鑑賞」・「教育実習生の紹介」など多岐に渡ります。また、「北高探検隊」という特集記事で「クラス替えの秘密」、「4階の開かずの扉」なぜ歌われない?校歌の2番」など校内の謎に迫りました。さらに、「噂の検証」という題で、北高のシベリアと呼ばれる旧体育館につながる廊下は、実際にどれくらい寒いのかを調べ、それを記事にすることで、新しい取り組みも増やしています。さらに、学校祭だよりを定期的に発行し、学校祭の内容や実行委員のメッセージを全校生徒に伝え、行事に対して意識を高めてもらおうと努めてきました。

全道大会にも毎年参加しており、過去には、北海道高等学校新聞コンクールで奨励賞と優秀賞をいただいています。

新聞の定期的な発行を始めてから現在で10年目。生徒たちは、新聞作りのノウハウを一から学びながら製作に取り組んでいます。

す。研修会に参加して指導を受け、他校の新聞に学びながら、前回よりもさらによいものを目標に活動中です。これからも校内の話題を新聞記事にして面白い新聞作りを目指していきたいと思っています。どうかよろしくをお願いします。

●演劇部

2020年度は、コロナウイルス感染対策のために毎年開催されている劇団水点華、春の演劇祭が中止となってしまい、高文連大会も無観客の開催となるなど、制限の多い中で活動を余儀なくされました。

今年度も、合同公演は中止となってしまいましたが、次の発表の場となる学校祭、高文連大会に向けて準備を進めています。1年生が加わり、男子部員も今までよりも増えたこともあり、作品・表現の幅も広がることを考えています。キャスト、裏方ともメンバー全員が活躍できるのも、この部活動の大きな魅力です。北高演劇部のこれまで先輩方が築いてきた良さを継承しつつ、さらなる表現力の向上に努めていきます。

●華道部

私たち華道部は、今年度は3年生2名、2年生1名の計3名で活動しています。普段の華道部の活動では、毎週水曜日に注文した花材を使って生け花をつくっています。使う花材は時期によって様々であり、四季の移り変わりを感じられます。また、活動の際には、講師の立岩先生が丁寧にご指導してくださるので、作品作りに関しての様々なアイデア、アドバイス等をいただながら、自分の作品の質をより高めることができます。

学校祭では、普段より豪華な花材を使って作品をつくり、「北高花展」という展示会を開きます。日々の活動の集大成でもあるので、部員一人一人が一生懸命に作品をつくります。また、部員全員で大規模なセンタースペースづくりに挑戦します。

そして、秋にはインターネット花展がある

ります。この花展では、自分の作品を撮影し、その写真をインターネット上で大会に申請して審査を受けます。全国の色々な人がつくった生け花も見られるので、様々な表現技法を学べる機会でもあります。

生け花には幾つかのルールはありますが、決して「これが正解だ」と言えず、作品のあり方が生ける人各々に委ねられているという所に魅力があります。今後の活動でも、自分自身の想像力を活用して、より個性あふれる作品をつくっていきます。そして、次世代の北高生に、この日本の伝統的な活動を伝え、より多くの人に生け花の魅力を知ってもらいたいです。



●茶道部

令和3年度、1年生の入部は女子12名で、2年生8名、3年生4名、計24名で活動しています。活動状況は、月曜日は技芸講師の立岩先生のご指導のもと稽古に励み、木曜日は自主練習で、3年生が中心となり基本練習の席入や帛紗さばき等の割稽古を行っています。また、積極的に校外のお茶会に参加しています。例年、5月の同門会の春のお茶会、6月は井上靖記念館で催される「赤い実の洋燈茶会」、10月の秋のお茶会などに参加していましたが、昨年は感染症予防のため、すべてのお茶会が中止となりました。今年度も、すでに5月開催の同門会のお茶会は中止となっています。活動の場面が少なくなり、生徒にとっては大変残念な状況となっています。

また、毎年、7月の学校祭は、日頃の活動成果を披露できる重要な行事でした。しかし、昨年は中止となり、発表の機会が失われました。そんな状況でも、生徒達は、上達したお手前をいつか披露しようという日々取り組み、各々が時間をみつけてはお手前の練習に励んでいます。今年度は、学校祭の計画もあり、練習にも一層力が入っています。

これからも、歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いで、茶道を通して礼儀作法や人を心からもてなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思っています。

●インターアクト部

現在私たちインターアクト部は3年生12人、2年生11人、1年生2人の合計25人で旭川北ロータリークラブのご支援のもと、様々なボランティア活動に取り組んでいます。



インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視点に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。人数が多いですが、一人一人が自分の役割を見つけた時には意見を出し合いより良い活動になるように頑張っています。活動内容は次の通りです。コロナの影響で例年通りの活動が出来ませんでしたが、これからも私たちが出来る範囲で頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いたします。

①美化活動

- ・校内内の清掃
- ・学校敷地内および周辺のごみ拾い

②募金活動

- ・ペットボトルキャップ・リングブルの回収
- ・赤い羽根共同募金活動の実施ならびに赤い羽根共同募金活動への参加

③地域との関わり

- ・雪だるまでお出迎え(旭川駅前)

④大会参加

- ・高文連全道ボランティア研究大会
- ・国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会
- (いずれも冊子制作により参加)

●文芸部

3月に3名の卒業生を送り出し、今年度新たに1名の新入部員を迎え入れ、3年生男子3名、女子3名、2年生男子1名、1年生女子1名の合計8名で活動しています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、旭川支部の高文連研究会は中止になり、全道研究会や前年に権利を得ていた高知総文祭はWEB開催となりました。そんな中でもコンクールは行われ、支部では俳句部門で最優秀賞、小説・詩・短歌部門でも多くの優秀賞を受賞することができました。また、全国高等学校文芸コンクールでは、短歌部門で優良賞を受賞しました。(東京での表彰式は中止)

部誌「玉響」も健在で、先輩方から引き継いだ熱い想いに刺激を受けながら日々創作活動に励んでいます。特に今のメンバーの中では、詩が盛んで、個性溢れるたくさん作品を載せています。

今年度は支部の当番校になり、8月末の研究会に向けて準備を進めています。昨年

開催できなかったために、他校との交流が途絶えてしまったので、今年は何としても開催したいと思っています。

書くことへの情熱と編集へのこだわりを大切にしながら、先輩方に続くべく、部員一同頑張っていきたいので、今後とも応援よろしくお願いたします。

●理科実験研究部

私たち理科実験研究部は3年生3人、2年生5人、1年生2人の計10人で活動しています。とても研究熱心で、どんなに難しい課題にもみんなでアイデアを出しあって解決したり、時には楽しい話で盛り上がりたりなど、仲良く活動しています。

一昨年から、モンシロチョウやキアゲハなどのチョウの体温調節についての研究を行っています。例えば、キアゲハの研究ではシミュレーション実験を行ったり、電子顕微鏡で翅の表面を観察したりしました。

モンシロチョウの研究はサーモグラフィカメラを用いた体の表面における温度上昇の測定や、数式を用いて野外での翅の開度を求めたりしました。しかし研究を行う時間が十分に確保できず、満足のいく研究ができませんでした。けれども日本でもっとも権威のある大会である日本学生科学賞や国際科学コンテストのつくば

Science Edgeといった大会などに出場し、結果、左のような数々の賞をいただきました。さらに世界大会の出場権も獲得することができました。なお高文連全道大会では2年連続で全国大会に推薦されました。

現在は、全国総文祭へ向けてモンシロチョウの研究をより発展させ、私たちが追い求めている最終結論を出すことを目標として先輩方や先生の協力をいただきながら、取り組んでいます。

そして今年は、新たにセミを指標として「生物にとつての都市環境とはどのようなものか」というテーマをもとに別の研究も始めることにしました。そちらの研究も、

まだ誰も知らない新しい発見ができるように日々頑張っていこうと思います。

【令和元年度大会結果】(支部大会は省略)

◆北海道高等学校文化連盟

第58回全道理科研究発表大会

総合賞(全国総文祭推薦1件・奨励賞1件)

◆第63回日本学生科学賞北海道審査会

読売新聞社賞

◆北海道代表として中央最終審査会進出

◆第63回日本学生科学賞中央最終審査会

入選1等(都道府県代表136校中12位)

【令和2年度大会結果】

◆北海道高等学校文化連盟

第59回全道理科研究発表大会

総合賞(全国総文祭推薦1件・奨励賞1件)

◆第44回全国高等学校総合文化祭

文化連盟賞

◆第64回日本学生科学賞北海道審査会

北海道教育委員会教育長賞1件、

読売新聞社賞1件

(北海道代表として中央最終審査会進出)

◆つくば Science Edge 2021

創意指向賞(全国上位3賞の一つ)

世界大会 Global Link

Singapore 2021への

出場権獲得)

●ESS

今年度、ESSは3年生3名で活動しています。

実践的な英語力向上を目標とし、外国の文化を知る活動を行っています。具体的には、クリスマスパーティーやイースターパーティー、ALTとの対話などです。異文化との相違点を発見できる良い体験だと感じています。

また、大会にも積極的に参加しています。今年度は5月に英語プレゼンテーションコンテストに出場し、旭川市により多くの外国人観光客を誘致する施策について発表しました。旭川ラーメンを活かした施策を考案するにあたり、市内のラーメン店などに積極的に取材をしました。急遽オンライン

審査になり、実際に会場で発表をすることはできなかったものの、この活動を通して、旭川市について見つめ直し、魅力を再発見することができました。目標であった入賞には一步届きませんでしたが、予選リーグで12チーム中、5位と好成績を収めることができました。部員が少なく練習は大変でしたが、挑戦して良かったと思える大会になりました。

昨年に引き続き、コロナの影響で満足に活動できない事も多いですが、今しかできないことを見つけ、活動していきたいです。

【令和元年度大会・活動結果】

第20回全道高等学校英語弁論大会

(ディベートの部)

Aチーム予選1勝2敗1分

全体24チーム中 17位

Bチーム予選1勝3敗

全体24チーム中 20位

北の恵食ベマルシェ2019

会場案内ボランティアとして参加

【令和2年度大会・活動結果】

田舎力甲子園 作品提出

全国高校生英語再生ことわざコンテスト

2020 作品提出

【令和3年度大会・活動結果】

第8回全道高等学校

英語プレゼンテーションコンテスト

予選Aリーグ12チーム中5位

●放送局

私たち放送局は1年生3人、2年生1人、3年生8人の12人と顧問の佐々木寿雄先生、副顧問の鈴木証先生で活動しています。

放送局は毎日の生徒の呼び出し放送、北高祭をはじめとする学校行事の音響、撮影、ビデオ編集を行っています。北高祭では準備期間から本祭当日まで仕事が多く大変ですが、その分やりがいを感じられます。ま

た、校内の活動だけでなく、年に2回ある大会や、まちなか学生映画祭などのイベントにも参加しています。

今年度のNHK

放送コンテスト上

川地区大会では、

アナウンス部門1

位、朗読部門1位、

2位、3位、テレ

ビドラマ部門2位、

ラジオドラマ部門2位で全道大会に出場す

ることができました。

今後とも局員全員で努力し、さらに活躍で

きるよう頑張ります。

●音楽部

今年度は3年生8人、2年生12人に加え、新入生が21人入部し、計41人で北高祭を中心としたイベントに向けて日々練習を続けています。現在は9バンド編成されており、毎週前バンドが部室を使えるように割り当てて活動をしています。

昨年度から続くコロナの影響も大きいですが、部費でキーボードや、PAセットを購入し、演奏や活動の幅が広がりました。市内で開催されたオンラインライブへの参加や、音楽部独自で部内発表会を実施するなど、たくさんの経験を積むことができました。学年主体で実施しているレクなどでも音楽部として発表の場を設けて頂けることもありました。

今年度は新たに21人もの1年生が入部してくれたこともあり、大きな部活動となったので、今まで以上に様々な取り組みにも挑戦していきたいです。PAセットの購入もあり、放送局のように学校行事での仕事の助けなどもできたらと考えています。そのためにも日頃の努力を惜しまず、仲間と協力して活動していきます。



●生徒会

旭川北高校の生徒会執行部は現在、3年生7名、2年生10名、1年生7名の計24名で活動しています。北高の生徒会の主な仕事は、新入生歓迎会、北高祭、体育大会、クリスマスイベントなどの行事の企画・運営です。なかでも、北高祭は最も大きな行事で、執行部内で9つのセクションに分かれてそれぞれが別々の仕事を担当します。

このような行事の運営で私たち執行部員が大切にしていることは「連携」と「反省」です。特に大きな行事の運営となるとセクション間での連携をしっかりと怠ってしまいません。ですから、報告・連絡・相談をしっかりとし、大きなミスが発生する前に修正することを心がけています。また、行事が終わった後に必ず反省会を行うようにしており、様々な視点から改善点や解決策を挙げて次に繋げていきます。そうすることで、年を重ねるごとに問題が解決されていき、新たな試みも行いやすくなっています。

前年度は大規模な感染症の影響で、ほぼ全ての行事を行うことができませんでした。今年度は感染症対策をしっかりと行い、新たな行事の形態を作り上げる気持ちで、生徒会活動に取り組んでいます。

私たち執行部はこれからも行事の企画・運営を中心に様々な活動を行っていきまが、そのためには全校生徒や先生方、地域の方々の協力が欠かせません。今後もしっかりに感謝しながら全力で活動を行っていきます。同窓会の皆様もお時間がございましたら、是非、私たちの活動を見に来て下さい。北高生一同、心よりお待ちしております。

最後になりましたが、これからも旭川北高校生徒会執行部をよろしく願っています。

●同窓会役員名簿

役職名	氏 名	卒業期
顧問	山形 積治	北8
顧問	西館 勝友	北13
顧問	八重樫和裕	北18
顧問	川島 崇則	北18
顧問	尾崎 信彦	北25
会長	山本 淳一	北28
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	山川 国土	北31
副会長	酒井 保則	北41
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	庄司 和晴	北18
会計監査	吉村 千鳥	北25
会計監査	富田 公裕	北25
総務部長	水口 貴浩	北39
総務副部長	田中 充	北25
総務副部長	城 裕一	北25
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
会計部長	園田 和宏	北33

役職名	氏 名	卒業期
会計副部長	栗山 英	北39
文化部長	木村 公俊	北25
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	本田 晴樹	北32
校内担当	安藤 光泰	北43
札幌会会長	山川 広行	北25
札幌会副会長	加門 清	北25
札幌会副会長	増田 幸夫	北28
札幌会事務局	北本 宏治	北37
会計監査	赤坂 誠司	北33
東京会・顧問	山口 哲男	北18
東京会会長	柿林 博司	北22
東京会副会長	鈴木 隆文	北25
岩手会会長	牛崎 鏖二	北6

旭川北高 同窓会役員・幹事名簿

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	小泉 貢
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	谷口 省一
昭36定卒	5	小林 成史
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂春
昭45定卒	14	大屋 秀行
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人
昭57定卒	26	中原 泰司
昭58定卒	27	山中 敏行
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次
昭63定卒	32	篠原 誠
平1定卒	33	窪田 竜三

卒業年度	期	氏名
平2定卒	34	新見 稔
平3定卒	35	西尾 悟
平4定卒	36	浅井 智希
平5定卒	37	大橋 恵子
平6定卒	38	早川 立人
平7定卒	39	細田 勝巳
平8定卒	40	遠藤 智康
平9定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣
		白井 道恵
平17定卒	49	渡部 勇太
		阿部 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也
		越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵

卒業年度	期	氏名
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
		今野 玲奈
平29定卒	61	今野 修人
		高瀬 弘里
平30定卒	62	菅原 悠介
		木元 実結
平31定卒	63	船越 裕晃
		鳴海 楓
令2定卒	64	大塚 良
		大八木梨紗
令3定卒	65	ダニス 海 プレンネン
		松崎ねおん

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中 1		
昭22卒	市中 2	副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中 3	幹事長	谷口 孝
昭24卒	市中 4	幹事長	間 仁一
	市高 1	副幹事長	石崎 一夫
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高 2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	寺林 靖夫
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	黒須 昌子
昭34卒	9	幹事長	鈴木 紀明
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	中辻 透
昭36卒	11	幹事長	谷中 紀親
昭37卒	12	幹事長	平賀 久靖
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	石田 邦光
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴
		副幹事長	池田 定博
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子

卒業年度	期	役職名	氏名
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊池 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	久保 友孝
昭59卒	34	幹事長	飛弾野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江渕 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平 1 卒	39	幹事長	大柳 智裕
平 2 卒	40	幹事長	富樫 明樹
平 3 卒	41	幹事長	村田 朋輝
平 4 卒	42	幹事長	細山 崇
平 5 卒	43	幹事長	佐藤 誉博
平 6 卒	44	幹事長	今村 速人
平 7 卒	45	幹事長	青葉 拓哉
平 8 卒	46	幹事長	上北 泰志
平 9 卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	松井 智弘
平11卒	49	幹事長	池田 譲治
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳
平14卒	52	幹事長	大友 健司
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也

卒業年度	期	役職名	氏名
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
平23卒	61	幹事長	島田 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香
平29卒	67	幹事長	白崎 優太
		副幹事長	三井 沙耶
平30卒	68	幹事長	倉橋 高矢
		副幹事長	井上 遥葉
平31卒	69	幹事長	中谷 紫温
		副幹事長	水野 花菜
令 2 卒	70	幹事長	櫻井 健太
		副幹事長	中川 弥乃
令 3 卒	71	幹事長	五十嵐駿征
		副幹事長	川崎帆乃花

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自 宅】 〒071-0528 空知郡上富良野町東 8 線北18号 1 番地22 水 口 貴 浩
携帯電話090-6266-9576

【勤務先】 東中郵便局 TEL0167-45-2902

当番期



第55回 同窓会実行委員長
今村 速人
(北高 44 期)

期せぬ事態であり、最近では、変異株も発生し、全世界的に猛威を振るい、いまだ解決策が見えていない状況である中、みなさまの健康と安全を第一に考慮した結果であります。

思い起こせば、当会実施に際して、第53回に初参加以来、第54回と2回の懇親会に参加させていただき、いよいよ我々が開催する会であると一昨年末から同期の仲間達と協力し、試行錯誤しながら少しずつ準備を進めていた最中の年明け冒頭、例のウイルスが発生しました。発生当初、このような重大な事態かつ長期化するとは思ってもおらず、様々な意見や憶測がある中でしたが、樂觀的な私自身としましては、開催を信じ、実施に向けて準備を重ねる日々でありました。しかしながら、

札幌雪まつりの開催を終えた2月末には、北海道全域「新型コロナウイルス非常事態宣言」発出、さらに感染は日本全国へ拡大し、同4月7日には、東京をはじめとする7地域に第1回目の「緊急事態宣言」が出されるまでになったことは記憶に新しいことでしょう。それと時を同じくし、役員の方々と開催に関して協議を重ね、2020年開催中止の決断を行いました。

その時点では、みなさまにお伝えした通り、2020年開催は中止、2021年の開催を予定しております。しかし、2021年春時点でも、ウイルスは収束することはなく、前年同様中止とさせていただく運びとなりました。

我々として、どうすることもできない

大変残念な結果、そして、この瞬間に我々44期は初めて同窓会を開催できない期「となってしまったのです。信じられない出来事ですが、これを事実と受け止め、我々としてできることはないか自問自答した結果、今まで脈々と続いてきた旭川北高同窓会の火を消さないために「総会・懇親会未開催のまま」会誌の作成を行うことでした。そのような思いで本会誌を作成させていただきましたことをみなさまにご理解いただき、今後も旭川北高同窓会の更なるご発展と皆様方の益々のご活躍、そしてまた無事に同窓会が開催できることを心から祈念しまして、44期代表の挨拶に替えさせて頂きたいと思っております。

次期当番期



第56回 同窓会実行委員長
青葉 拓哉
(北高 45 期)

大反対していると言うので、自分が引き受けることにした。家庭が壊れては大変である。突然の電話であったが、同級生とは思えないもので、この四半世紀の時間がなかったかのような錯覚を覚えた。

この挨拶文を書くのに当たり、私の

「幹事長になってくれないか」
見知らぬ番号からの電話、それは同級生からのものだった。そういう年齢になったのかと思うと同時に、ほかに適任者がいるだろうとの思いが頭をよぎったが、ほかに紹介できる者もなく、その同級生が幹事長になることに妻が

高校時代を少し回想してみる。学区外から通学していたため、朝6時に家を出て、パンをくわえながら田園地帯を自転車疾走し、列車に飛び乗ることから毎日が始まった。帰りも列車の時間があるため、部活動にも参加できず、教室以外での同級生との思い出はほぼ

ない。冬は列車の中で日の出を迎えたことを覚えていた。その通学時間に勉強すればよいものを、もっぱら睡眠タイムにしていた習慣から、今でも列車に乗るとすぐに眠くなる。通学の記憶とともに、とても居心地が良い高校であった。

時を戻そう。3年間乗車した路線は、今や存続の危機である。在学当時、流行の兆しのあったポケベルは、スマートフォンに進化し、社会に多大な影響を与えている。本当に諸行無常である。そして、このコロナ禍だ。この原稿の執筆時点で、ワクチンの接種率は2%

程度、3回目の緊急事態宣言が発出されている。
このような時に同窓会のような集まりは憚られるが、このような時だからこそ「人とのつながり」の価値が高まっているとも思う。同窓生はお互いの大きな財産だ。みんなの財産は守らなければならない。
次回の開催に向けて、皆様のご協力をお願いするとともに、北高関係者全員のご多幸と、北高並びに同窓会の益々の発展を祈念して、挨拶に代えさせていただきます。

応 援 歌



応 援 歌

高橋国二 作詞
熊崎清志 作曲

一、熱せる血潮や
健児の気
その名も高き（北高）の
栄誉燦たり
我が友よ

戦わん意気も
火の如し

二、見おや祖国の
中堅と
その名も高き（北高）の
鍛えあがりたる
我が選手

進える敵も
何のその

三、青空高き
グラウンドに
優勝の旗うち振りて
天にも轟く
万才の
勝関あざむ
我を見よ



旭川北高同窓会だより 第44号 令和3年10月1日発行

発行所／旭川北高等学校同窓会(旭川市花咲町3)

発行人／同窓会会長 山本 淳一

編集／旭川北高等学校同窓会文化部・旭川北高等学校同窓会第55回総会 実行委員会

印刷／東洋(株)旭川市末広東1条4丁目8-35 大道警備保障(株)ビル2F TEL 0166-85-7350